

官報

號外 昭和七年三月二十四日

○第六十一回 貴族院議事速記第二號

帝國議會

昭和七年三月二十三日(水曜日)午前十時九分開議

議事日程 第二號

昭和七年三月二十三日

午前十時開議

一 陸海軍將士ニ對スル感謝決議案
(公爵近衛文磨君外六名發議) 會議

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

(小林書記官朗讀)

昨二十二日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

昭和六年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)

昭和六年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)

昭和七年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)

昭和七年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)

同日内閣總理大臣ヨリ左ノ通政府委員仰付ケラレタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

第六十一回帝國議會外務省所管事務政府委員

外務省通商局長 武富 敏彦君

第六十一回帝國議會內務省所管事務政府委員

內務省警保局長 森岡 二朗君

第六十一回帝國議會大藏省所管事務政府委員

大藏省銀行局長 大久保偵次君

第六十一回帝國議會鐵道省所管事務政府委員

鐵道省經理局長 工藤 義男君

本日豫算委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 伯爵柳澤 保惠君

副委員長 男爵大井 成元君

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、陸海軍將士ニ對スル感謝決議案、公爵近衛文磨君外六名發議、會議、御異議ガナケレバ決議案ノ朗讀ハ省略ライタシタク存ジマス

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(公爵德川家達君) 近衛公爵ノ登壇ヲ望ミマス

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ参照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ)

陸海軍將士ニ對スル感謝決議案

右提出候也

昭和七年三月二十日

發議者

公爵近衛 文磨 公爵一條 實孝

伯爵溝口 直亮 眞野 文二

男爵小原 駿吉 石渡 敏一

菅原 通敬 贊成者

公爵鷹司 信輔 侯爵細川 護立

男爵斯波忠三郎 內田 嘉吉
男爵北大路實信 伊澤多喜男
男爵松岡 均平 桑山 鐵男
男爵足立 豐 男爵今國 國貞
男爵稻田 昌植 男爵高木 喜寬
男爵藤田 四郎 男爵深尾隆太郎
竹越與三郎 橋本圭三郎
田所 美治 山之内 一次
八田 嘉明 青木 周三
服部金太郎 加藤政之助
稻畑勝太郎 木村清四郎
田村 新吉 尾崎元次郎
土田 萬助 小塩八郎右衛門
本間千代吉 瀨川彌右衛門
八馬 兼介 藤原銀次郎

貴族院議長 公爵德川家達殿

陸海軍將士ニ對スル感謝決議

我カ帝國陸海軍ノ忠誠勇武ナル義ニハ滿洲ノ兵匪ヲ掃蕩シテ和平ノ緒ヲ開キ尋テ上海事變ノ勃發スルヤ寡兵ヲ以テ大軍ヲ擊破シ克ク各國ト協調シテ内外國人ノ生命財產ノ保護ニ任セリ

貴族院ハ爰ニ忠勇ナル陸海軍將士ノ功勞ニ對シ重ネテ感謝ノ誠意ヲ表シ併セテ其ノ勇健ヲ祈ル

(公爵近衛文磨君演壇ニ登ル)

○公爵近衛文磨君 只今日程ニ上ボリマシタル決議案ニ付キマシテ、大體ノ趣旨ヲ申述ベマス、我が帝國陸海軍ノ忠誠ニシテ勇敢ナルコトハ、中外ノ齊シク驚歎指ク能ハザル所デアリマス、曩ニハ湖北曠野ノ滿洲ニ於キマシテ、風雪ヲ冒シテ彼ノ暴戾ナル兵匪ヲ掃蕩イタシ、其地方ノ秩序ヲ恢復シ、在留同胞及ビ地方民ヲシテ其堵ニ安センシメ、漸ク滿洲ノ天地ニ和平ノ端緒ヲ招徠シツツアリマスコトハ、東洋平和ノ爲ニ誠ニ慶賀ニ堪ヘザル次第デアリマス、尋デ上海ニ於キマシテモ亦悲シムベキ事變ガ勃發イタシ、我國ハ自衛上出兵ノ已ムヲ得ザルコトナリマシテ以來、我が將士ハ烈寒ヲ凌ギ、艱苦缺乏ニ堪ヘ、少數ノ兵ヲ以テ壯烈果敢、到ル所ニ敵ノ大軍ヲ擊破シ、殊ニ又自重シテ各國軍隊トノ間ニ能ク協調ヲ保タレテ、上海方面ニ於ケル内外國人ノ生命財產ノ保護ト、我が權益ノ擁護トニ關シテ、遺憾ナク其任務ヲ遂行シ、國威ヲ中外ニ宣揚シツツアルコトハ、國民ト共ニ誠ニ感激ニ堪ヘザル所デアリマス、此意味ニ於キマシテ本員ハ院議ヲ以テ、忠勇ナル我が陸海軍將士ノ功勞ニ對シ、重ネテ感謝ノ意ヲ表シタイト思フノデアリマス、茲ニ案文ヲ朗讀イタシマス、

我カ帝國陸海軍ノ忠誠勇武ナル義ニハ滿洲ノ兵匪ヲ掃蕩シテ和平ノ緒ヲ開キ尋テ上海事變ノ勃發スルヤ寡兵ヲ以テ大軍ヲ擊破シ克ク各國ト協調シテ内外國人ノ生命財產ノ保護ニ任セリ貴族院ハ爰ニ忠勇ナル陸海軍將士ノ功勞ニ對シ重ネテ感謝ノ誠意ヲ表シ併セテ其ノ勇健ヲ祈ル

何卒全會一致ヲ以テ御贊成アラムコトヲ希望イタシマス(拍手起ル)尙ホ此決議案ガ成立イタシマシタナラバ、陸海軍大臣ヨリ關係方面ヘソレレ、御傳達アラムコトヲ希望イタシマス(拍手起ル)

○議長(公爵德川家達君) 感謝決議案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

(議員起立)

○議長(公爵德川家達君) 全會一致ト認メマス、大角海軍大臣

(國務大臣大角孝生君) 曩ニ第六十回議會ニ於テ、貴族院ヨリ陸海軍ニ對シ御鄭重ナル決議ヲ辱ウ致シマシタル所、茲ニ再ビ滿場一致、院議ヲ以テ御懇篤ナル慰問ト激勵ノ辭ヲ賜ハリマシタルコトハ、誠ニ感激ノ至リニ堪ヘマセヌ、前回同様早速此御決議ヲ海軍全般ニ傳達イタシマス、事變勃發以來、皇軍ガ各種困難ナル狀況ノ下ニ、勇戰奮闘、克ク所期ノ戰果ヲ擧ゲマシタコトナリマシテ以來、我が將士ハ烈寒ヲ凌ギ、艱苦缺乏ニ堪ヘ、少數ノ兵ヲ以テ壯烈果敢、到ル所ニ敵ノ大軍ヲ擊破シ、殊ニ又自重シテ各國軍隊トノ間ニ能ク協調ヲ保タレテ、上海方面ニ於ケル内外國人ノ生命財產ノ保護ト、我が權益ノ擁護トニ關シテ、遺憾ナク其任務ヲ遂行シ、國威ヲ中外ニ宣揚シツツアルコトハ、國民ト共ニ誠ニ感激ニ堪ヘザル所デアリマス、此意味ニ於キマシテ本員ハ院議ヲ以テ、忠勇ナル我が陸海軍將士ノ功勞ニ對シ、重ネテ感謝ノ意ヲ表シタイト思フノデアリマス、茲ニ案文ヲ朗讀イタシマス、

我カ帝國陸海軍ノ忠誠勇武ナル義ニハ滿洲ノ兵匪ヲ掃蕩シテ和平ノ緒ヲ開キ尋テ上海事變ノ勃發スルヤ寡兵ヲ以テ大軍ヲ擊破シ克ク各國ト協調シテ内外國人ノ生命財產ノ保護ニ任セリ貴族院ハ爰ニ忠勇ナル陸海軍將士ノ功勞ニ對シ重ネテ感謝ノ誠意ヲ表シ併セテ其ノ勇健ヲ祈ル

何卒全會一致ヲ以テ御贊成アラムコトヲ希望イタシマス(拍手起ル)尙ホ此決議案ガ成立イタシマシタナラバ、陸海軍大臣ヨリ關係方面ヘソレレ、御傳達アラムコトヲ希望イタシマス(拍手起ル)

○議長(公爵德川家達君) 感謝決議案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

トハ、畏クモ至尊ノ御後威ニ依リマスコトハ固ヨリデアリマスルガ、舉國一致ノ熱烈ナル後援ニ待ツ所大ナルモノアルハ申ス迄モナキ次第デアリマス、今ヤ軍事行動モ大體一段落ヲ告グルニ至リマシタケレドモ、時局ノ前途ハ尙ホ遠達ナルモノガアルト感ゼラレモノガアルデアリマス、我一同ハ、愈々其責務ノ重大ナルコトヲ思ヒ、一層協心戮力、誓テ其本分ヲ盡シ、以テ聖慮ヲ安ンジ奉ルト共ニ、國民ノ期待ニ背カザラムコトヲ期スルモノデアリマス、茲ニ帝國海軍ヲ代表シ、重ネテ深厚ナル感謝ノ誠意ヲ表シマス(拍手起ル)

○議長(公爵德川家達君) 陸軍大臣荒木貞夫君

○國務大臣荒木貞夫君演壇ニ登ル

開會ノ初頭ニ於キマシテ、在滿在支ノ我が陸軍部隊ニ對シテ、全院一致ノ感謝ノ御決議ヲ辱フ致シマシテ、全軍深ク感激ヲ致シ、特ニ在外ノ將兵ハ感奮イタシマシテ、爾後其天晴ナル奮闘振ヲ見マシタコトモ一ニ力強キ各位ノ院議ニ依ル激勵ノ賜ト茲ニ改メテ感謝イタシマス次第デアリマス、而シテ本日又此臨時議會ニ於キマシテ、劈頭再ビ此決議ヲ辱フ致シマスコトハ、刻下有終ノ武德ヲ收メムト努力イタシテ居リマスル將兵ニ對シマシテ、如何ニ感激ノ念ヲ深カラシムルコトカト存ジテ、重ネテ御禮ヲ申上ゲル次第デアリマス、由來戰ヒハ戰機ト士氣ト向フモノデゴザイマシテ、而シテ此戰機ノ補捉ハ統帥ノ妙ニ依ルコトデアリマス、又士氣ノ振起ハ一ニ死君國ニ報ズル忠誠ノ信念ト、又我が同胞ノ舉國一致ノ後援ニ依ル安心トニ因ルモノデアリマス、今方ニ能ク首肯セラルル所ト存ジマス、今同上海ニ陸軍ヲ派遣セラルルニ當リマシテ、海陸遺囑ナキ緊密ナル協同ニ依リマシテ、不意ニ七了口ニ上陸ヲ致シマシテ、敵

ノ膽ヲ寒カラシメテ其敗因ヲ作り、正面ヨリハ機熟セリト見マシテ挾撃一舉ニ戰勝ヲ決シマシタルコトハ、是レ一ニ統帥ノ妙ニ依リマシタルコトデアリマシテ、又御承知ノ如ク三勇士初メ幾多ノ戰友ガ海軍ノ將兵ト相携ヘテ、世界ヲ驚異セシムル軍デノ壯烈忠誠ノ働キヲナシテ、笑テ其任務ニ殉ジマシタルコトハ一ニ是レ忠誠ノ信念ト同胞ノ後援ニ堅キ安心ヲ持テ居タコトデアリマシテ、然ラズンバ到底見得ベカラザリシコトト深ク信ズルノデアリマス、而シテ其結果ト致シマシテ、滿洲及北支那ハ、今日鬼モ角一先ヅ其平和ヲ克復イタシマシテ、上海方面モ亦月餘ヲ出デザルニ軍ノ行動ニ一段落ヲ得マシテ、皇軍ノ威武ヲ發揚スルコトヲ得マシタルコトハ、固ヨリ陛下ノ御後威ニ依ルコトハ申スマデモナキコトデゴザイマスガ、又一ニ國民ノ上ニ重キヲ爲シテ居ラレマスル所ノ本院一致ノ決議ト、又之ヲ如實ニ見マスル所ノ熱烈ナル國民ノ後援ノ賜デアルコトヲ信ジテ疑ハヌノデアリマシテ、深ク感謝イタシマス次第デアリマス、今ヤ大陸ニ於キマシテハ、小康ハ得マシタモノノ、前途ハ尙ホ豫測シ難キモノガゴザイマス、皇國ハ誠ニ重大ナル時機ニ當面イタシテ居リマス信ジマス、而シテ世界ハ尙ホ東亞ノ天地ニ於ケル正義公道ニ對スル認識ニ遺憾少カラザルヤラ感ズルモノガアリマス、我々ハ先ヅ人類同福ノ支柱トナリマシテ、此迷蒙ヲ啓キ、皇國ノ正道ヲ世界ニ宣布イタシマシテ、以テ内外ノ此重大ナル難局ヲ打開イタシマスルニ最善ノ力ヲ致シマシテ、同胞ノ利福ト東洋ノ正當ナル安康ヲ確立スルコトガ、先以テ笑テ皇國ノ爲ニ、朝北江南ノ地ニ骨ヲ埋メテ朽ツルコトナキ名ヲ留メマシタル幾多戰友ノ英靈ニ酬ユル最上ノ道デアルト考ヘテ居リマス、全院一致ノ決議ハ之ニ力アル後援ヲ御與ヘ下サタモノデアリマシテ、私モ一層粉骨碎身、輔弼ノ大任ヲ完ウセムコトヲ一同共

ニ期スル次第デアリマス、此旨在支在滿將兵一同ニ漏レナク傳ヘマシテ、一層匪窮ノ誠ヲ致シマシテ御期待ニ副フコトヲ期シマス、茲ニ陸軍ヲ代表イタシマシテ、御決議ニ對シテ滿腔ノ誠意ヲ傾ケマシテ、感謝ノ衷情ヲ表明イタス次第デゴザイマス(拍手起ル)

○議長(公爵德川家達君) 犬養內閣總理大臣

○國務大臣犬養毅君演壇ニ登ル

諸君、茲ニ時局ニ關シ、殊ニ緊急ナル國務ニ付キ協贊ヲ願ヒマスコトハ私ノ光榮トスル所デアリマス、茲ニ衆議院解散サレ、昭和七年度歲入歲出總豫算並ニ同年度各特別會計豫算ハ不成立トナリシ爲ニ、政府ハ憲法ノ條章ニ依リ前年度ノ豫算ヲ施行スルコトニナリマシタ、唯今同ノ事變ニ關スル經費ニ付キマシテハ緊急已ムヲ得ザルモノアルガ爲ニ、茲ニ臨時議會ヲ召集ヲ奏請シ、追加豫算案及法律案ヲ提出イタシマシタ、尙ホ此機會ニ政府ハ銀行券ノ金貨兌換ニ關スル件、及ビ昭和六年度ニ於ケル國債償還資金ノ繰入一部停止ニ關スル件、並ニ今同ノ事變ニ關シ經費支辨ノ爲メ公債發行ニ關スル緊密財政處分ニ付テ憲法ノ規定ニ基キ、ソレノ事後承認ヲ求メムトスルノデアリマス、支那事件ニ付キマシテハ帝國ハ東洋永遠ノ平和ヲ確保シ、我が權益ヲ擁護及我が國民ノ生命財產ノ保護ヲ完ウセムコトヲ期スル外ニ何等ノ意圖ヲ有シマセム、領土の企圖無キハ勿論、門戶開放機會均等主義ヲ尊重スルモノデアルコトハ屢々聲明シタ通りデアリマス、日支兩國ハ目下複雑ナル關係ニ立チ至テ居リマスルガ、支那ニシテ反省ノ實ヲ擧グルニ於テハ解決ハ決シテ難事ニアラズト思ヒマス、政府ハ一日モ早く日支關係ガ常態ニ復シ、善隣ノ誼ヲ厚クセムコトヲ切望シテ居ルノデアリマス、一般政策ノ事項ニ關シマシテハ、次期議會ニ於テ諸君ノ協贊ヲ

願フ心算デアリマス、此度ノ提案ニ付キマシテハ現下ノ事情ヲ洞察セラレ、速ニ協贊アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 外務大臣芳澤謙吉君

○國務大臣芳澤謙吉君演壇ニ登ル

案件ニ付キマシテハ、去ル一月ノ通常議會ニ於キマシテ御説明申上ゲテ置キマシタ、只今茲ニ其後ノ事態ニ付キマシテ報告ヲ兼ネテ所見ヲ陳述イタシマスコトハ、私ノ欣幸ト致ス所デアリマス、支那本部ニ於キマスル排日運動ニ付キマシテハ、其後モ機會アル毎ニ支那側ニ對シマシテ、之ガ徹底的停止ヲ要求シテ參ツノデアリマスルガ、不幸ニシテ支那側デハ何等反省ノ跡ナク、該運動ハ却テ益々深刻執拗ヲ加フルノ情勢デアラハデアリマス、殊ニ上海地方ニ於キマシタハ其勢最モ甚シカッタデアリマス、殊ニ一月九日上海ノ民國日報ト云フ新聞ニ、我が皇室ニ關スル不敬記事事件ガアリマシタ、又同月十八日支那暴民ガ我が日蓮宗僧侶達ヲ殺傷シタ事件ガ發生イタシタルデアリマス、之ガ爲過去長日月ノ間排日運動ノ爲ニ苦ミ、殊ニ最近其最モ惡辣ナル情勢ニ對シマシテ隱忍ヲ重ネテ來マシタ我が居留民ノ憤懣ハ其極ニ達シマシテ、事態極メテ重大化スルニ到ツタデアリマス、此情況ニ於キマシテ在上海帝國總領事ハ、政府ノ訓令ニ基キマシテ上海市長ニ對シテ此二ツノ事件ニ付テ嚴重抗議シマスルト同時ニ、數項ノ要求ヲ提出イタシタルデアリマス、所ガ此二ツノ事件ノ中前者ニ付キマシテハ間モナク上海ノ市長ニ於テ我が要求ニ應ジタデアリマス、又後者ニ付キマシテハ多少曲折ガアリマシタガ、結局二十八日ノ午後三時ニ至テ、同市長カラ我が方ノ要求ヲ容レテ參ツノデアリマス、我が方トシマシテハ、之ニ依テ事態ノ緩和ヲ期待シマスルト同時ニ、支那側ノ約束ノ履行ヲ監視ス

ルノ地位ニ立ツニ到リタノデアリマス、然ルニ是ヨリ先第十九路軍ハ上海ノ租界附近ニ集中シマシテ各種ノ戰備ヲ行ヒ、甚ダ不穩ナル態度ヲ示シテ居リマシタガ、共同租界ノ工部局當局ハ無節制ナル支那軍隊及ビ極端分子ノ使喚スル支那暴民ノ爲ニ租界内ノ秩序ガ紊亂サルコトヲ慮リタモノノ如ク、二十八日ノ參事會ニ於テ同日午後四時ヨリ戒嚴令ヲ施行スルコトニ決定イタシタノデアリマス、其結果列國軍ハ豫テノ協定ニ基キマシテ各其受持區域ノ警備ニ就イタノデアリマス、帝國陸戰隊モ亦受持區域デアリマス、開北地方ノ警備ニ就カムト致シマシタ際ニ、支那側ヨリ我が陸戰隊ニ向テ發砲シテ參タノデアリマス、茲ニ於テ我が軍ハ已ムヲ得ズ之ガ對抗手段ヲ執リタノデアリマス、世間ニハ往々支那側ガ既ニ我が方ノ要求ヲ容レタノニ拘ラズ我が陸戰隊ニ於テ自ラ求メテ攻撃ヲ開始シタルガ如ク傳フル者モアルノデアリマス、是ハ全然事實ニ反シテ居リマシテ、事實ハ只今私ノ申シタ通り、支那側ノ方カラ挑戰シテ來タ爲ニ已ムヲ得ズ之ニ應戰シタト云フ次第デアリマス、我が方トシマシテハ其後事態ノ更ニ惡化スル事ヲ防ガムガ爲ニ、全力ヲ盡シマシテ二度マデモ支那側ト間ニ戰鬪中止ノ協定ヲ作ラタノデアリマス、然ルニ此協定ハ其都度支那軍ノ方ヨリ破棄シテ參リマシテ、次デ二月十八日ニ至テ、我が方ヨリ改メテ支那軍ニ對シマシテ、其一定距離外ニ撤退スルコト及ビ其他ノ要求ヲ提出イタシタノデアリマス、然ルニ支那軍ノ方デハ不幸ニシテ遂ニ之ニ應ジナカッタノデアリマス、之ガ爲ニ豫テ増援ノ爲ニ派遣セラレテアリマシタ我が陸軍ハ、二月二十日ヲ以テ海軍ト相協力シマシテ、支那軍ノ一定距離ニ撤退スルコトヲ強制イタシタノデアリマス、而シテ此強制ハ三月三日ニ至リマシテ、完全ニ之ヲ實現セシムルコトガ出來タノデアリマス、上海事件ノ發生シマス

ヤ否ヤ、支那政府ハ日支兩國ノ紛争ニ付キマシテ、聯盟規約第十五條ノ適用ヲ先ツ聯盟理事會ニ提起イタシタノデアリマス、ソレカラ其後間モナク本件ハ再び支那側ノ要求ニ依リマシテ、聯盟總會ノ方ニ移付セララルニ至リタノデアリマス、我が方ト致シマシテハ、上海事件ハ單純ナル地方的事件デアリマシテ、所謂國交斷絶ニ至ル虞アルモノデナイト、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、又滿洲事件ニ付キマシテハ、最近ニ至リマシテ、滿洲ニ於テハ新規ノ戰鬪行為モ無クナリ、且滿洲事變ナルモノハ聯盟規約第十一條ニ基イテ理事會ニ繫屬中デアアルノデアリマス、且理事會事ノ選定シマシタ委員ガ支那ノ實情ヲ調査スル爲ニ極東ニ向テ出發シタル事實ニモ顧ミマシテ、滿洲事變モ上海事件ト共ニ聯盟規約第十五條ノ適用ヲ見ルベキ問題デナイト云フ見解ヲ執リ居ル次第デアリマシテ、帝國政府ハ當初ヨリ此趣旨ニ基キマシテ、明確ナル保留ヲ聲明イタシマシタ上、理事會及ビ總會ノ討議ニ參加イタシマシタノデアリマス、然ルニ聯盟總會ニ於キマシテ本月十一日、一ノ決議ヲ通過イタシタノデアリマス、此決議ハ我が方ニ於テ到底受諾シ難イ幾多ノ點ヲ含シタモノデアリマシテ、我が代表部ニ於キマシテモ政府ノ訓令ニ基イテ、我が方ノ立場ヲ闡明イタシマス、共ニ前述ノ第十五條適用ニ關シマス、異議ヲ保留シテ、投票ニ參加シナカッタ次第デアリマス、次ニ滿洲問題ニ付キマシテハ、昨午秋舊東北政權倒壊ノ後ヲ受ケマシテ、同地方ニ於ケル支那側ノ要人連ノ行ヒマシタ所謂局地的治安維持ノ努力ナルモノハ、其後支那本部ニ對シマス、滿洲ノ特殊性及ビ從來同地方ニ行ハレテ居リマシタ軍閥政治ニ對スル滿洲一般人民ノ反感ト相俟テ、次第々々ニ滿洲獨立運動ニ轉向シタ模様デアッタノデアリマス、最近ニ至リマシテ、以前ノ省長等ガ主唱イタシマシテ獨立ヲ宣言スルニ至リタノデアリマ

ス、次デ三月十二日ニ此新政府ノ外交總長等カラシテ帝國政府ニ宛テマシテ、滿洲國ノ創立ヲ通報シテ參タノデアリマス、此通報ニ對シマシテハ非公式ニ之ヲ領承スルニ止メタ次第デアリマス、私ハ若シ新政府ニシテ、此通報ニ記載シテアリマス通り、既ニ存在シテ居ル條約及外國人ノ權利利益ヲ尊重シ、且門戶開放ノ原則ヲ遵守イタシマス、ナラバ、是ハ新政府ノ前途ノ爲ニモ甚ダ歡迎スベキコトヲ考フルノデアリマス、將又北洋漁業問題ニ關シマス、日本「ソヴェト・ロシヤ」ノ間ノ諸懸案ニ付キマシテハ、昨午來「モスコ」ニ於テ銳意商議ヲ繼續イタシテ居ルノデアリマス、未ダ不幸ニシテ解決ヲ見ルニ至ラヌノデアリマス、サリナガラ之ガ適當ナル妥結ニ達スルト云フコトハ、兩國々交ノ大局カラ申シマシテ極メテ望マシイ所デアリマシテ、此解決ヲ圖ラムトスル大體方針ニ付キマシテハ既ニ日本側デモ「ソヴェト・ロシヤ」側デモ、兩方トモ意見ノ互ニ相接近シテ來ル模様デアリマス、政府ト致シマシテハ今後トモ我が主張ノ貫徹ニ努メ、條約ニ基キマスル正當ナル權益ヲ確保ト云フコトニ向テ努力シ、且成功イタシタイト考ヘル次第デアリマス、以上ハ外交經過ノ大體デアアルノデアリマス、帝國ハ申ス迄モナク滿洲ニ於キマシテハ甚大ナル政治的利害關係ヲ有シテ居ルノデアリマシテ、是ハ御承知ノ通りデアリマス、然ルニ支那本部ニ對シマシテハ、政治的關係ヨリハ寧ロ經濟的利害ノ方ガ多分デアリマシテ、從テ若シ南京政府及國民黨々部ガ從來ノ排日政策ヲ拋棄シテ、内部ノ和平統一ヲ圖リ資源開發等ノ經濟的發展ニ努力シマス、場合ニハ、日支兩國間ノ國交ガ和衷融合ニ至ルベキコトハ疑フ容レザル所ト考フルノデアリマス、尙茲ニ一言イタシタイコトハ、滿洲事變、殊ニ上海事件發生以來、歐米諸國ニ於キマスル空氣ノ、我が國ニ對シテ好意的デナイト思

ハル節ガアッタノデアリマス、是ハ事實ニ即セザル支那側ノ宣傳又ハ種々ノ誤解ニ基キタアリマシテ、私ハ時日ガ經過シマスルト共ニ、是等諸國ニ於ケル日本ニ對シマスル感情モ次第ニ好轉スルコトト期待イタシテ居ル次第デアリマス

(國務大臣荒木貞夫君演壇ニ登ル)

○國務大臣荒木貞夫君) 私ノ主事事項中デ當面ノ時局ニ關スルモノニ付キマシテ茲ニ梗概ヲ申述ベタイト存ジマス、東洋永遠ノ平和ノ爲ニ一大障礙デアリマシタ又最モ悲シムベキ事象ノ一ツデアリマシタル所ノ彼ノ支那ノ排日排貨運動ハ近年ニ至リマシテ頗ニ熾烈トナッタノデアリマス、而シテ滿洲ニ於キマスル所ノ我が特殊權益ハ當時ノ滿洲政權ニ依リマシテ完膚ナキマデニ蹂躪ヲセラレタルノミナラズ、遂ニハ我が同胞鮮人ニ對シマシテ非常ナル壓迫ヲ加ヘ更ニ是ガ進ミマシテ是等鮮人ノ虐殺ニ及ンダノデアリマス、遂ニ我が武官一行ニ對スル慘殺等ニ至リマシテ毎日モ其ノ極度ニ達シマシマシタノデ、隱忍ヲ重ネ來テ居リマシタル所ノ我が在滿ノ同胞ハ固ヨリ、我が國民モ最早平靜ニ一日ヲモ暮シ難キ程度ニ至リテ居ラタノデアリマス、然ルニ事態ハ更ニ惡化ヲ致シマシテ遂ニ昨秋ニ至テ奉天北大營附近ニ於キマスル所ノ王以哲配下ノ支那官兵ノ暴舉ニ依リマシテ、茲ニ已ムナク皇國自衛權ノ發動ヲ餘儀ナクセラレタノデアリマス、爾來皇軍ハ寡兵ヲ以テ衆敵ニ當リ、困苦ヲ凌ギ晝夜兼行ノ不斷ノ活動ヲ續ケ來タノデアリマス、而シテ一面ニハ恐ラクハ過去ニ於テハ見ルコト稀デアッタ考ヘラレマス、程ノ、我が同胞ノ舉國一致的ノ公憤ト、然ルガ如キ熱烈ナル後援トニ依リマシテ、又先刻モ本院々議ヲ以テ激勵ノ辭ヲ戴キマシタヤウナ、斯様ナ次第デ一致ヲ致シマシテ、幾多ノ國際難局ニ直面イタシマシツツ、克ク之ニ堪ヘ得マシテ、又茲ニ征戰半歲ニシテ暴戾ナル兵匪馬賊並ニ便

衣隊等ノ迫害ニ打克チマシテ、今日ニ於キマシテハ、僅ニ三萬人ニ足ラザル在滿ノ將兵ハ、兎モ角モ我が皇國ノ二倍半ニ餘ル廣表ヲ有シテ居リマスル滿蒙ノ地域ニ駐屯ヲ致シマシテ、直接ニハ内鮮同胞百萬ノ生命財産ノ安固ト、間接ニハ在滿三千萬民衆生活ノ康寧ニ寄與シツアルノデアリマス、而シテ其本來ノ第一使命デアリマスル所ノ、國防ノ第一線ニ立ツベキ任務ニ付キマシテハ、確實ニ之ヲ遂行イタシマシテ、其保障ヲ續ケテ今日ニ至リテ居ルノデアリマス、以上ノ各經過ニ付テハ、夙ニ各位ニ於カレテ御了知ノコトト存ズル次第デアリマス、諸事變ノ當初滿洲ニ駐屯ヲ致シテ居リマシタル所ノ我が陸軍ノ兵力ハ、駐劄ノ第二師團ト獨立守備隊トデアリマシテ、各方面ニ散在イタシテ居リマスルモノヲ合シマシテモ、僅ニ一萬四千ニ過ギナカッタノデアリマス、又當時奉天附近ニアリマシタモノハ四千餘ニ過ギナカッタノデアリマス、之ニ反シマシテ在滿ノ支那軍ノ總兵力ハ二十二萬内外ヲ算シマシテ、奉天附近ニ居リマスルモノバカリデモ、僅ニ一萬四千ヲ有シテ居タノデアリマス、此實情ニ鑑ミマシテ、事件勃發直後、取敢ズ朝鮮ヨリ混成旅團ヲ派遣スルコトナリマシテ、爾後引續キ御承知ノ如ク幾多ノ危機ニ遭遇イタシマシタル爲メ、其都度緊急必須ノ要求ニ應ジマシテ、更ニ内地及朝鮮ヨリ所要ノ兵力ヲ増派セラレマシタコトデアリマス、斯ク致シマシテ寡少ノ兵力ヲ以チマシテ、克ク遼西附近ニアリマスル所ノ滿洲ノ禍根ヲ除キ、北滿ノ不安ヲ一掃イタシ、又一方馬賊、兵匪等ニ付キマシテハ、之ヲ討伐スルコトノ以外ニ、努メテ皇軍ノ犧牲ヲ少カラシムル爲メ、之ヲ招撫ヲモ併セマシテ、以テ今日ノ安康ヲ招徠シ來タノデアリマス、併ナガラ仔細ニ觀察ヲ致シマスルト、前途尙ホ樂觀ヲ許サザルモノガ多クアリマスルノデ、之ニ善處スル爲メ、當局ハ目下焦慮對策ヲ講

ジツアル次第デアリマス、元來國防上ヨリ見マシテモ、滿洲ノ平和ヲ永遠ニ維持イタシマシテ、又滿洲ノ發展ヲ希フコトハ勿論ノコトデアリマシテ、之ガ爲メハ現在ノ狀態ニ於キマシテハ、少クモ現有兵力ヲ必要トスルコトハ勿論デアリマシテ、尙ホ爲シ得ルナラバ現勢以上ノ兵力ヲ駐屯セシムルヲ必要ト思惟セラレマシテ、目下當事者ニ於テソレノ研究イタシテ居ル次第デアリマス、又ハ上海方面ノ事デゴザイマスルガ、此方面ニ對シマスル陸軍部隊ノ派遣ハ、滿洲ニ對シマスルモノト其事態ガ全然異テ居リマスルガ爲メ、最モ慎重ナル態度ヲ執ルノ必要ヲ認メマシテ、事態ノ推移ヲ靜觀シテ居タノデアリマシタガ、二月ノ下旬ニ至リマシテ、情勢急テ告ゲマシテ、遂ニ廟議ノ決定ニ依リマシテ、海軍ニ協力シテ、事件ヲ速決スル爲メ、陸軍ヨリモ派兵セララルコトナリマシテ、統帥部ノ計畫ニ基キマシテ、取敢ズ九州ヨリ一旅團ト、更ニ或ル程度マデ兵力ヲ充實イタシマシタル所ノ一師團トヲ派遣セララルコトニナッタノデアリマス、陸軍ト致シマシテハ、當初ヨリ上海ニ於ケル所ノ特殊ノ關係ニ基キマシテ、努メテ流血ノ慘ヲ見ルコトナク事件ヲ解決イタシタキ希望ヲ有シテ居タノデ、之ニ基キマシテ屢々支那側ト交渉ヲ重ネマシタガ、支那側ノ態度ハ之ニ對シマシテ、砲撃ヲ以テ我が交渉ニ答ヘルト云フヤウナ、極メテ不誠意甚シキモノガアリマシタノデ、遂ニ交戦ノ已ムナキニ至リマシタノハ、誠ニ遺憾ニ存ズル次第デアリマス、然ルニ支那側ニ於キマシテハ尙ホ慷慨ラズシテ、當面ニアリマシタル所ノ、廣東ニ屬シマスル所ノ第十九路軍ノ外ニ、更ニ蔣介石直系ノ警衛軍ヲ増加イタシマシテ、計六師團ヲ以テ却テ我ニ對シテ反撃ヲ加ヘムトスル勢ヲ示シマシタノデ、豫メ準備シテ居リマスル所ニ從ヒマシテ、更ニ充實セラレマシタル所ノ二箇師團及同方面ニ必要トセラレマシタル所ノ

附屬部隊ヲ増派イタサレマシテ、本月初メ一舉ニ敵主力ヲ再起シ得ザルマデニ擊攘シ得タノデアリマス、而シテ爾來平和促進ノ爲メ、其兵力ヲ一定地域ニ集結ヲ致シマシテ、目下停戰ノ姿勢ヲ執リツ、アルノデアリマス、而シテ軍ニ於キマシテハ常ニ我が政府ノ根本政策ト完全ナル協調ヲ遂ゲマシタ、又海軍トノ共同動作ニハ、一點ノ遺憾ナカラシムルヤウニ致シマシテ今日ニ至リテ居リマス、又一方ニハ作戰ヲ上海附近ニ局限ヲ致シマシテ、出來得ル限り當時ノ情況ヲ顧慮イタシマシテ、日支ノ間ニ全面的開戦ノ不幸ヲ避ケル所ノ方針ニ基キマシテ、以上申述べタル如ク其目的ヲ達成シ得タ次第デゴザイマス、元來上海方面派兵ノ目的ハ、居留民保護ト共同租界ノ康寧維持デアリマスノデ、今回ノ戰鬪ノ結果支那軍ニシテ今後大規模ノ集中攻撃動作ニ出デザル限リハ、統帥部ノ意見ニ基キマシテ、自主的ニ速ニ兵力ヲ收縮スル所ノ方針ヲ採ルコトナリマシテ、本月中旬ニハ既ニ第十一師團及混成第二十四旅團等ニ現地撤收ノ御下命ガアリマシテ、内地ニ於テ待機スルコトニナツテ、目下其歸還輸送ノ途中ニ在ルノデアリマス、以上ハ時局ニ關シマスル主務事項ノ大要デアリマスルガ、只今國防ノ見地ニ立チマシテ皇國內外現下ノ情況ニ稽ヘツツ、今次事變ノ性質及ビ經緯ヲ仔細ニ考察イタシマスルト、其重大性深刻性ニ於キマシテハ、到底往年ノ西比利亞派兵又ハ濟南事變ト全ク其趣ヲ異ニシテ居ルノデアリマス、ノミナラズ觀察ニ依リマシテハ、日露戰役當時以上ノ重大性ヲ有スルモノト考ヘラルルノデアリマス、將兵始メ一般ノ意氣ノ高潮シ來リマシタコトハ固ヨリ當然ナ歸結デアルト存ジマス、唯此上ハ奉公ノ至誠ト私ヲ忘レマシタル奮闘努力ト、而シテ舉國一致的ノ團結ノ力ニ依リマシテ、有終ノ美ヲ濟シマシテ、以テ國防ノ安固ト同胞ノ康寧トニ寄與イタシタイト祈テ居ル次第

デアリマス、更ニ今次事變ニ於キマスル陸海軍ノ協同一致ノ動作ハ、古今ノ歴史ニ見ルコト稀ナル所デアリマシテ、蓋シ皇軍ト致シマシテ、世界ニ誇ルベキモノノ一トシテ、深ク意ヲ強ウシテ居ル次第デアリマスルコトヲ、特ニ茲ニ申上ゲテ置キタイト存ズルノデアリマス、今ヤ上ハ陛下ノ御稜威ニ依リマシテ、神明ノ加護ヲ享ケ、下ハ將兵ノ忠烈無比ノ奮闘ニ依リマシテ、世界ノ畏敬ニ値シ、又同胞愛ヲテノ熱烈ナル後援ニ依リマシテ、其決意ト意氣ヲ中外ニ示シテ居リマス、逐次東亞ニ於ケル所ノ清新ナル和平ノ曙光ヲ認メツツアルコトハ、誠ニ感謝ト御同慶ニ堪ヘザル所デアリマシテ、當局ト致シマシテモ、益々其責任ノ重大ナルヲ痛感イタシマシテ、戮力同心皇國ノ此難局ヲ打開イタシマシテ、我が國體ノ本源ニ基キマシテ、外ハ皇道宣揚ノ爲ノ國防ノ安固ヲ期シ、内ニアリマシテハ、萬民同福ノ爲ノ國德布施ノ實ヲ舉ゲマシテ、異端ヲ排シマシテ皇道ヲ踏ミ、以テ皇國ノ清明ナル和平ニ寄與イタシマシテ、宏猷扶翼ノ大任ヲ果スコトニ邁進スルコトヲ、一同ト共ニ期シテ居ル次第デアリマス、然ルニ前途ハ尙逆路シ難キモノガゴザイマス、如何ニ考ヘテ見マシテモ、今日ノ情勢ハ内外誠ニ非常ナル時機ト存ズルノデアリマス、我モ非常ノ覺悟ヲ以テ、萬事ニ善處イタシテ見タイト存ズル次第デアリマスノデ、各位ニ於ケレマシテモ、此時局ヲ御諒察ノ上、現下ニ於ケル陸軍ノ使命完成ノ上ニ十分ノ御協助アラムコトヲ切ニ祈ル次第デアリマス、(拍手起ル)

○議長(公爵德川家達君) 大角海軍大臣(國務大臣大角孝生君演壇ニ登ル)

○國務大臣(大角孝生君) 茲ニ私ハ今次ノ上海事變ニ關シマシテ、此經過ノ概要ヲ申述ベヤウト思ヒマス、久シキニ互ル支那本土ノ排日排貨運動ハ、昨秋以來急激ニ惡化シテ參リマシテ、漸次在留邦人ノ生命財産

ニモ脅威ヲ感ズルヤウニナリ、中支南支各方面ニ幾多ノ事故ヲ惹起シタノデアリマスルガ、帝國海軍ハ機宜必要ナル警備兵力ヲ増派シタシマシテ、居留民ノ保護ニ遺憾ナキヲ期スルト共ニ、絶エズ彼等ニ威壓ヲ加ヘテ、極力事端ノ發生ト共擴大トヲ防止スルニ努メ、常ニ出先外務官憲ト密接ナル協力ノ下ニ善處イタシマシテ、幸ニ一月中旬頃迄ハ特ニ重大ナル事態ノ發生ヲ見ルコトナク経過シテ參タノデアリマス、然ルニ一月九日上海ニ於テ我ガ皇室ニ對スル不敬記事掲載事件ガ起リ、同十七日抗日市民大會ノ不穩ナル決議、翌十八日邦人僧侶及信徒等ニ對スル殺傷事件等ガ相次デ起リ、現地ニ於キマスル帝國官憲ハ、上海市政府當局ニ對シマシテ、嚴重ナル抗議ヲ致シタノデアリマス、然ルニ容易ニ誠意アル回答ニ接セズ、漸クニシテ一月二十八日午後、上海市長ヨリ我方ノ要求ヲ承認スルト云フ回答ヲ受ケタノデアリマス、然ルニ當時支那側反動諸團體ノ暴動化セムトスル氣配極メテ濃厚トナリ、又我ニ對シテ著々戰備ヲ整ヘツツアル第十九路軍及便衣隊等ニ對シテ、市長ハ何等之ヲ制壓スルノ權威ナク、保安隊ハ逸早く逃亡スルト云フヤウナ有様デ、形勢頗ル險惡トナリマシタノデ、同日午後四時工部局ハ遂ニ戒嚴令ヲ布キ、各國軍隊ハ豫テノ協定ニ從ヒマシテ、其受持配備ニ就クニ至リマシタ、帝國海軍陸戰隊ハ豫メ我方行動任務ニ關スル布告ヲ發シタル後、邦人多數ノ居住シテ居ル所デアリ、又我ガ受持警備區域デアリマスル所ノ北四川路方面及楊樹浦方面一帶ヲ治安維持ニ任ズル爲メ、兵力配備ヲ開始イタシマシタル所、北四川路方面ニ於キマシテ、突如トシテ支那軍ノ襲撃ヲ受ケマシタノデ、我モ亦自衛上兵力行使ノ已ムヲ得ザルコトナリ、茲ニ日支兩軍ノ戰鬪ヲ惹起スルニ至タノデアリマス、今次ノ正面衝突ヲ起シマシタ支那第十九路軍ハ、昨年廣東派ノ武力ノ背景トシ

テ、上海方面ニ移駐シテ參タモノデアリマシテ、同軍中ニハ多分ノ赤化分子ガ混入シテ居リ、而モ支那内政上ノ抗爭等モアリマシテ、軍長タル、蔡廷楷トシテハ、退イテ僻地ニ去ルカ、留テ上海死守ノ美名ノ下ニ玉碎スルカ、二途其一ヲ擇バナケレバナラヌト云フヤウナ羽目ニ陥リマシテ、而モ彼ノ背後ニハ對日紛糾ヲ助成シテ、蔣介石ヲ窮地ニ陥レムトスルノ策謀モ加ハリマシテ、形勢ノ惡化ハ到底免レ難イモノト觀察サレタノデアリマス、兎モ角、事態斯ノ如クシテ、彼我軍隊ノ交戦ヲ見ルニ至リマシタノデ、帝國海軍ハ更ニ其待機兵力ヲ急派シタノデアリマス、然ルニ當初ハ僅ニ二千七八百ノ寡兵ヲ以テ十倍餘ノ敵ト對峙シ、而モ我ガ陸戰隊ノ警備區域タル開北方面ハ煉瓦造等ノ家屋ガ十重二十重ニ構比イタシマシテ、而モ敵ハ其間ニ堅固ナル防禦陣地ヲ構築シ、恰モ天然ノ要塞ノヤウニナリテ居ルノデアリマス、又支那獨特ノ便衣隊ナルモノヲ多數租界内ニ潛入セシメマシテ、我が後方ヲ攪亂シ、又各國ノ利害相錯セルニ乗ジ、故意ニ我方ト第三國間トノ紛爭ヲ惹起セシメムトスル支那側ノ惡辣ナル陰謀奸策ガ盛ニ行ハレルト云フヤウナ有様デアリマシテ、作戰上極メテ不利ナリナリト下ニ行動シタノデアリマス、然ルニモ拘ラズ、我が陸戰隊ハ堅忍不拔克ク善戰イタシマシテ、敵ニ多大ノ損害ヲ與ヘ、彼等ヲシテ我が警備區域内ニ一步モ踏入レシメズ、上海ニ於ケル我が地歩ヲ死守イタシマシタノデアリマス、併ナガラ一方海軍兵力ヲ以テ此上、陸戰隊ヲ増派スルト云フコトハ一定ノ限度ガアツテナカ、困難デアリマス、且ツ前ニ申上ゲタヤウナ地形上ノ關係モアリ、加フルニ各種複雜ナル國際關係等モアリマスノデ、遠ク進ンデ其禍根ヲ絶ツト云フ譯ニ參ラナカッタノデアリマス、而シテ他方支那側ハ續々増援隊ヲ集中スルト云フ情況デアリマシタノデ、遂ニ二月初旬陸軍ノ出兵

トナリ、次デ更ニ同月下旬第二回ノ増兵ヲ見ルニ至タノデアリマス、海陸軍協同動作ハ極メテ圓滿順調ニ進捗イタシ、陸兵ノ輸送及護衛並ニ揚陸掩護ハ勿論、吳淞砲臺、獅子林砲臺ノ攻略ヲ初メトシ、殊ニ海軍飛行機ガ上海方面ニ於ケル航空權ヲ完全ニ獲得イタシマシタル結果、陸上作戰ニ於キマシテハ我が飛行機ヲ以テ思フガ儘ニ敵陣地乃至敵ノ密集部隊等ニ對シ痛撃ヲ加ヘルコトガ出來タノデアリマシテ、今次事變ニ於ケル海陸軍ノ協同作戰ハ眞ニ世界史上稀ニ見ル美事ナモノデアリ、皇軍ノ威力ノ無限ノ強味ヲ加ヘタルガ如キ感ヲ致シタノデアリマス、上海方面ニ於ケル戰鬪行爲ハ去ル一日乃至三日ニ亙ル我が陸海軍ノ總攻撃ニ依テ徹底的打撃ヲ與ヘマシタ結果、國際都市タル上海自體及其咽喉ヲ扼セル國際水路ノ安全モ確保サレマシテ、先ヅ茲ニ一段落ヲ告ゲタ次第デアリマス、是レ畢竟陛下ノ御稟威ヲ仰ギ、國民ノ熱誠ナル後援トニ感激シタル出征將士ノ功勞ナリト信ジ、洵ニ感激ニ堪ヘザル次第デアリマス、而シテ此事變ノ爲メ、忠死セシ將士ノ英靈ニ對シテ深甚ノ敬意ヲ表スルモノデアリマス、海軍ト致シマシテハ事件ノ收マリ次第、一日モ速ニ増派部隊ヲ復歸セシメマシテ、教育訓練其他ノ整備ヲ致シ、以テ海軍本來ノ實力ノ維持、増進ニ努力イタシタイノデアリマシテ、先以テ曩ニ聯合艦隊ヨリ臨時第三艦隊ニ編入サレマシタ第三艦隊、第一水雷戰隊、第一航空戰隊等ヲ復歸セシメラレタ次第デアリマス、尙ホ諸般ノ情勢ニ鑑ミマシテ當分從來ノ第一遣外艦隊以外ニ、尙ホ若干ノ部隊ヲ殘留セシムル必要ガアルト考ヘテ居ル次第デアリマス、尙ホ又上海方面以外、支那沿岸各地ニ於キマシテハ、支那側虛妄ノ宣傳ニ因リマシテ、屢、人心ノ動搖ヲ見タノデアリマスルガ、所在我ガ海軍警備部隊ト、出先外務官憲ト協力善處ニ依リマシテ、只今ノ所特ニ申上ゲルヤウ

ナ重大ナル事端ノ發生ヲ見ズニ經過シテ參タノデアリマス、以上ハ今次上海事變ニ關スル經過ノ概要デアリマス、帝國海軍ハ常ニ我が政府ノ方針ニ則リ、隣邦支那トノ親善融和ヲ念トシ、相提携シテ和平確保ノ使命ニ精進セムトスル者デアリマスルガ、苟モ公道ヲ無視シ、正義ニ反スル對手國ノ態度ニ對シテハ、敢然トシテ其非ヲ匡正スルノ要アリト信ズル者デアリマス、希クバ支那側ニ於キマシテモ、今次ノ事變ニ深ク反省自覺スル所アツテ、將來所謂禍ヲ轉ジテ福ト爲スノ結果ヲ見ルニ至ラムコトヲ切望シテ止マヌ次第デアリマス(拍手起ル)

○議長(公爵德川家達君) 高橋大藏大臣(國務大臣高橋是清君演壇ニ登ル)

○國務大臣(高橋是清君) 本院へ提出シテアリマスル昭和六年度及同七年度歳入歳出總豫算追加四案ニ付キマシテ簡單ニ説明ヲ致シマス、昭和六年度歳入歳出總豫算追加ハ滿洲事件ニ關シ、昭和六年度中ニ陸軍省及海軍省ニ於テ要スル經費ヲ見積リタルモノデアリマシテ、其金額ハ陸軍省所管ニ屬スルモノ六百五十六万七千二百三圓、海軍省所管ニ屬スルモノ百一十九万九千五百五十八圓、合計七百七十五万九千六百九十一圓デアリマス、是ガ財源ハ借入金ニ依リ計畫デアリマス、昨年九月滿洲事件ノ起リマシタル以來、同事件ニ關スル費用トシテ今日マデニ支出シマシタ金額ハ外務、陸軍、海軍ノ三省ヲ通ジマシテ七千九百八十餘万圓デアリマス、内昭和六年度歳出豫算節約額ヲ復活イタシタルモノガ三百十四万圓、第二豫備金支出ノ分ガ六百九十五万圓、財政上ノ緊急處分ニ依ル公債金ヲ財源トスル豫備金外支出ノ分六千九百七十餘万圓デアリマス、之ニ今回ノ追加豫算ヲ加ヘマスト、昭和六年度ニ於ケル滿洲事件費ノ總額ハ八千七百三十餘万圓ニ達スルノデアリマス、次ニ昭和六年度歳入歳出總豫算追加ハ、恩給ノ豫算ニ不足ヲ生ジマシタ爲メ、之ニ追加ヲ要ス

ルモノデアリマシテ、其金額ハ百四十二万二千四百七十一圓デアリマス、是ガ財源ハ昭和六年度豫算實行上ノ歳入超過額ヲ以テ之ヲ支辨スル計畫デアリマス、次ニ昭和七年度歳入歳出豫算追加ハ滿洲事件ニ關シ、昭和七年度ニ於テ外務、陸軍、海軍ノ三省ニ於テ要スル經費ノ中、次ノ臨時議會マデニ必要ナル經費、即チ四、五ノ兩月分ヲ見積タモノデアリマシテ、其金額ハ外務省所管ニ於テ百四十四万五百六十六圓、陸軍省所管ニ於テ三千九十七万二百五十四圓、海軍省所管ニ於テ二千七百一十八千二百六十五圓デアリマス、之ガ財源ハ公債ニ依ル計畫デアリマス、次ニ昭和七年度各特別會計歳入歳出豫算追加ハ、關東廳竝ニ公債金特別會計ノ追加豫算デアリマシテ、關東廳ノ分ハ昭和七年度ニ於テ滿洲事件ノ爲ニ關東廳ニ於テ要スル經費ノ中、四、五ノ兩月分ヲ見積タモノデアリマシテ、其金額ハ三十五万四千二百三十六圓デアリマス、之ガ財源ハ公債ニ依ル計畫デアリマス、又公債金特別會計ノ分ハ曩ニ説明イタシマシタ昭和七年度度滿洲事件費ノ財源トシテ發行スル公債金ヲ、一般會計竝ニ關東廳特別會計ニ繰入レル爲メノ追加豫算デアリマシテ、所謂通り抜ケノ勘定ニ屬スルモノデアリマス、以上ノ四、五ノ緊急避ケベカラザル經費ニ關スル追加豫算デアリマスカラ、速ニ御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 豫算委員長長柳澤伯爵ヨリ、豫算委員會ニ退席ノ要求ガゴザイマシタ、之ヲ許可スルコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認
メマス。

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ通告順ニ依リマシテ、國務大臣ニ對スル質疑ノ發言ヲ許シマス、大河内子爵

〔子爵大河内輝耕君演壇ニ登ル〕

○子爵大河内輝耕君 今日ノ感謝決議ニゴザイマシタ通り、忠勇ナル軍人ハ屍ヲ野外ニ曝シ、熱誠ナル國民ハ舉國一致、其一身ヲ賭シテ之ガ後援ヲナシツツアリマスル際、社會ノ一隅ニ當リマシテ兎角不安ナ色ガ漂ヒツツアルト云フコトハ、誠ニ此時局重大ノ際ニ遺憾千萬ニ存ジマス、之ニ付キマシテ色ミノ方面カラ政府ニ御尋ヲ致シタイト存ジマスガ、何分ニモ此短期會期デゴザイマシテ、サウ十分ナコトヲ色ミナ問題カラ申述ベルコトモ出來マセヌ、但シ茲ニ一番重要ナリト感ジマスルノハ、此時局ニ際シマシテ、マダ國民ノ疑惑ノ中ニ殘テ居リマスル此現内閣ノ留任問題デゴザイマス、之ニ付キマシテハ、此前ノ議會ニ於キマシテ柳澤伯爵ヨリ非常ニ深切ナ、又熱烈ノ御質問ガゴザイマシテ、ソレニ對シテ私共ガ、彼此レ一語ヲ加ヘル餘地モゴザイマセヌ、但シ之ニ對スル總理ノ御回答ハ、是ハ會期ガ短カク、セイモゴザイマセウガ、マダ十分附ニ落チ兼ネル點ガ多々ゴザイマスルノデ、已ムヲ得ズ此際茲ニ更ニ此點ヲ明カニ致シタイト存ジマシテ、總理ニ質問ヲ致スル次第デゴザイマス、其時ノ總理ノ御答辯ニ依リマシテハ、私ノ解シマスル所デハ、留任ノ理由ト云フモノガドウモ少シハ、キリ致シマセヌヤウニ存ジタ、併シ是ハ昨日ノ衆議院ニ於ケル御答辯ニ依リマシテ、政府ノ御考ヘニナクテ居ル所ダケハ略ボ明瞭イタシマシタ、時間ヲ節約スル爲ニ、私ノ解スル所ヲ前提ト致シマシテ申述ベマスルガ、詰リ御留任ニナクコトハ優詔ニ依ツタノデハナイノデアル、併シ此重大ナル時局、此重大ナル時局ニ際シテ、自分デナケレバ此時局ヲ擔任スル者ハナイ、斯ウ云フ御考カラ自分ハ進ンデ此時局ヲ擔任スル爲ニ留任セラレタ、斯ウ云フヤウニ仰セラレタト解シテ居リマス、其適否ハ別ト致シマシテ、兎ニ角一應御意思ノ在ル所ハ分リマ

シタ、ソレデ尙ホ少シクソレヲ前提トシテ
質問ヲ進メタイト存ジマス、總理ハ前回ノ
議會ニ於キマシテ心境ノ變化ト云フコトヲ
言ハレタ、是ハ大分長ク論ズレバ論ズルコ
トモ出來マセウガ、簡單ニ唯申上ゲルノハ、
私共ハ少シク解スルコトノ出來マセヌノ
ハ、我國體ニ關スル問題デアル、國體ニ關
スル感想ト云フモノハ絕對ナモノデアル、
日本人生レ落チテ以來、此國體ニ關スル感
想ト云フモノハ決シテ變ルベキモノデハナ
イ、厚クコソナレハ薄クナルモノデハナ
イ、然ルニ之ニ對スル感想ガ變化シテ來
ル、事ノ見様ニ依リマシテハ、從來ハ之ガ
爲ニ辭職マデサレタ、ソレガ今度ハ辭職ヲ
シナクテモ宜イノダ、如何ニモ國體觀念ヲ
輕ク見ルヤウナ感ヲ與ヘル氣味ガゴザイマ
ス、是ハ如何ナモノデゴザイマセウカ、更
ニ明カナル御答ヲ煩ハシタイ、更ニ時局ノ
重大ナ秋デアルカラシテ辭職ヲシナイト斯
ウ言ハレル、併シナガラ總理ハ曩ニ此問題
ハ憲法論、政治論ニ超越シタ問題デアル、
斯ウ云フコトヲ言ハレタ、此憲法論、政治
論ニ超越シタ問題ナレバ、時局重大ダト云
フコトハ何等問題トスベキモノデナイト思
フ、時局ガ重大デアルト云フノハ、即チ一ツ
ノ政治論ニ絕對ニ超越シテ居ルト云フノナ
ラバ、之ニ依ッテ留任サレル理由ハナイノ
デアラウト存ジマス、尙ホ前回ニ、此前ノ
山本内閣ノ際ニ於ケル所ノ事件ガ其時ニ引
用サレタ、ソレデ總理ノ御言葉ニハ其事ハ
ナカッタヤウデゴザイマスガ、方々ノ御演說
其他デ洩レ聞キマスル所ニ依ルト、何カ此
前回ノ事件ヨリモ今回ノ事件ハ比較的輕イ
ノデアルト云フヤウニ、一般ニ印象ヲ與ヘ
テ居ルヤウニ存ジマス、私ノ解スル所デハハ
今回ノ事件ハ、是ハ未曾有ノ重大事件デア
ル、成程前回モ重大事件ニ相違ナイ、其際
ニ犬養遯信大臣ガ熱心ニ辭職ヲ主張セラレ
タト云フコトハ、誠ニ敬意ヲ表スル次第デ
ゴザイマスルガ、今回ノハソレハ未曾有ナ

コトデアラウト存ジマス、深イコトハ申シマセスガ、ソレハ申スコトハ憚リマスガ、申サナクテモ御分リノコトト存ジマス、次ニ事務局ガ重大デアルカラ留任ヲシタ、斯ウ云フ又仰セガアリマシタノデスガ、時局ガ重大デアルカラ自分ガ留任ヲシテ仕事ヲヤツテ行カウト云フコトデアレバ、何故ニ初メ辭表ヲ御捧呈ニナツタノカ、辭表ヲ捧呈セラレテ優詔ヲ賜フテ、サウシテ留任サレタト云フノハ辭表ヲ捧呈サレタト留任ノ決意ヲサレタト、其間ニ於キマシテ時局ニ何等カノ變化ガ起ツタノナラバ格別、時局ハ辭表ヲ捧呈サレル時モ矢張り重大デアッタ、而モ尙ホ御話ニ依リマス、其間ニ優詔ニ依テ意思思願シタノデナイト仰セラレル、然ラバ其間ニ何等カ時局ニ變化ガ起ツタト見ナケレバナラヌ、此點ハ私共ハサウ解スルコトガ出来ナイ、私ノ解スル所デハ優詔ヲ戴カトレタ爲ニ、之ニ依ツテ留任ノ決意ヲサレタニ相違ナイト私ハ思フ、併シ衆議院ニ於ケル御答辯ニ依レバ優詔ニ依ツテ留任シタノデハナイト言フ、ソレデハ辭表ヲ捧呈サレタ時ト最後ニ辭表ヲ撤回サレタ時ト其間ニ如何ナル變化ガ起ツタカ、何故ニ變化ガ起ツタノデアルカ、此點ハ私トシテ少シク解スルニ苦シム、ソレカラ尙ホ色ニ伺ヒタイ點モゴザイマスガ、簡單ニ外ノコトハ一切抜きマシテ行政上ノ責任ニ付テ申上ゲタイ、先達テ内務大臣ガ辭職ヲセラレタ、是ハ表面御病氣ト云フコトデアラウト存ジマスガ、ドウモ御病氣ダト云フコトニナツテハ居リマスガ、私ノ解スル所デハ定メシ是ハ此事件ノ責任ヲ負ハレタコトト拜察イタシテ居ル、内務大臣トシテハ當然サウアツテ然ルベキコトデアアル、此間マデ御留職ニナツテ居ッタト云フコトヲ誠ニ不思議ニ存ジテ居ッタ、若シモサウデナイトスレバ、左様ナコトハ解シ難イ所デアアル、部下ノ警視總監ハ既ニ責任ヲ負ウテ居ル、責任ヲ負ウテ居ルニモ拘ラズ内務大臣ガ少シモ之ヲ願ミル所ガ

ナイ、内務大臣ノミナラズ其統督ノ責ニア
ラレル總理大臣モ此行政上ノ見地カラ見テ
モ相當ノ責任ヲ取ラレテ宜カラウト存ジマ
ス、最後ニ一ツ申述ベテ置キタイノハ、近
頃世相ノ不安ナコトハ色ミナ原因モゴザイ
マセウガ、一ツハ政治上ノ原因ガゴザイマ
ス、ソレニ付キマシテハ政黨ノ權威ト云フ
モノガ大ニ疑ハレテ來タ、是ハ誠ニ遺憾
ナコトデアアル、私共ハ斯ウ云フコトハ少シ
モ疑ヒタクナイ、立憲政治ガ布カレテ居ル
以上政黨ト云フモノハ立憲政治ノ柱石デア
ル、之ヲ健全ナラシメテ之ヲ信頼シ得ベキ
モノニスルト云フコトガ立憲政治ノ基本デ
アル、政黨ノ信用ガ墜チテシマヘバ、立憲
政治ノ基礎ト云フモノハ故ニ動搖ヲ來スノ
デアル、然ルニ斯ノ如ク只今ノ此留任問題
ニ於キマシテ一般ニ感想ヲ與ハラレタ如ク、
國體觀念ハ輕視サレ、或ハ責任觀念ハ沒
却サレ、斯ウ云フヤウナ狀態デアレバ此
政黨ノ權威ト云フモノハ益ニ疑ハレテ來
テ、終ヒニハ如何ナル變事ニナラストモ限
リマセヌ、此處ハ多年憲政ノ上ニ御盡力ニ
ナツタ總理ト致シマシテハ、何等カノ御考モ
アラウカト存ジマス、マダ色ミ伺ヒタイ
コトモゴザイマスガ何分ニモ時日モ短カイ
コトデアリシ、先ヅ是ダケノコトヲ伺ヒタ
イト存ジマス

(國務大臣犬養毅君演壇ニ登ル)

○國務大臣(犬養毅君) 只今不祥事件ニ對
スル責任問題ヲ御尋ネニナリマシタ、前回
柳澤伯爵ニ當院デ御答イタシマシタト、
少シモ今日違フコトハナイノデアリマス、
之ヲ再ビ重ネテ申シマスレバ、山本内閣ノ
時ト此處執ツテ進退トハ違フテ居ルノデアリ
マス、總辭職ヲ致シマシタ、併ナガラ誰ガ
主張シ、誰ガ何ト云フコトハ閣内ノ秘密ノ
事項デ閣外ニ現ハレベキモノデハゴザイ
マセヌ、故ニ山本内閣トシテハ恐縮ノ至リ、
ドウシテモ此儘留任スルコトハ出來ナイ
ト、斯ウ決定イタシマシタ、私モ無論其閣

内ノ一人デアリマス、ソレデ今日ハドウシ
テ變化シタカ、私ハ實ニ此事ハ矢張り重大
ナ事件デ、山本内閣ノ時ニ比シテ輕イトモ
重イトモ申シタコトハアリマセヌ、一切ア
リマセヌ、ソレデ無論重大ナコトデアリマ
スカラ閣員一同決定イタシマシタ、其辭表
ヲ取纏メテ閣下ニ伏シテ骸骨ヲ乞ウタノデ
アリマス、之ニ對シテ重大ナ時節デアルカ
ラ留任セヨト云フ寛大ナル、寛仁ナル御説
ヲ賜リマシテ、ソレカラ退イテ閣僚一同審
議、熟慮イタシマシタ、デ執ルベキ途ハ二
ツデアアル、此際我々ハ山本内閣ノ時ト同様
ニ退クカ、是モ臣節ヲ盡スベキ一ツノ手段
デアアル、今日此時局ノ重大ナル、殊ニ此危
險ナ分子ハ發シタ時ニ發シテ居ルノデハナ
イノデアリマス、長イ間緩慢ニ付セラレ
……、長イ間ニ醜態サレテアルノデアリマ
ス、之ヲ防グ、之ヲ撲滅スルト云フコトガ
重大デハナイカ、然ラバ我々ハ退イテ責任
ヲ盡スカ、進ンデ粉骨碎身シテ責任ヲ盡ス
カ、今日ノ場合ハ我々ハ何ト云フハレヤウト
モ進ンデ此責任ヲ盡ス、再ビ斯様ナ事件ノ
起ラナイ……、絕對ニ起ラナイト云フコトハ
人力デ出來ルカ出來ヌカ知リマセヌガ、信
念ノ上カラ言ヘバ再ビ起ラヌヤウニ努メル、
ドコ迄モ之ヲ取締リテ此根本ヲ除ク、一面
ニハ重大ナ事件ニ引掛テ……、外國ニ對シ
テハ重大ナ事件ニ引掛テ居ル、是ハドウシ
テモ解決セネバナラス、此間ニ内閣ノ動搖
……、更ニ内閣ガ出來ル、サウ云フコトハド
チラデアアルカト云フト、外ニ對シテ良イカ
惡イカト判斷スルト、私ハ此儘進ンデ責任
ヲ盡スガ宜シイ、斯ウ考ヘタノデアリマス、
ソレデ山本内閣ノ時ノ辭職ヲ致シマシタ意
味モ、今日留任テ責任ヲ盡スト云フコトモ、
決シテ國體觀念ニ變化ハ生ジテハ居リマセ
ヌ、ソレデ前同心境ノ變化ト申シタノハ即
チソレデアリマス、段々、我々ハ唯腹ヲ切
ルト云フコトバカリガ責任ヲ盡スノデハナ
イ、マダ更ニ盡スベキ責任ハナイカ、積極

的ニナイカト、斯ウ云フコトハ心境ニハ變
化ヲ生ジテ居リマス、併ナガラ國體觀念ニ
於テハ一點、私ハ變化ヲ持テ居リマセヌ、
是ハ前回御答イタシタ通りデアリマス、ソ
レカラ衆議院ニ答ヘタコトヲ一ニ御舉ゲニ
ナリマシタ、其際ハ……、是ハ多少御諒恕
ヲ願ヒタイ、實言葉ニ實言葉ト云フコトガ
アリマス、最モ卑野ナコト……、人ノ眞實ヲ
下劣ナ考ヘデ付度シテ而モ私ノ統制ノ下ニ
多年政黨ニ居タ者ガ脱シテ馳ツタ者ドモカ
ラ卑野ナ言葉ヲ以テ攻撃セラレマシタカ
ラ、私ハ多少言葉ハ激シテ居ルノデアリマ
ス、併ナガラ趣意ハ同ジコトデ、言葉ハ激シ
テ居リマシタカモ知レマセヌガ、趣意ハ同ジ
コトナンデアアル、進ンデ此責任ヲ盡サウ、
我々ガ盡サナケレバドウスルカ、斯ウ云フ
コトハ其所謂實言葉ニ實言葉デアアルノデ多
少激シテ居リマスガ、趣意ハ違ヒハナイ
ノデアリマス、斯様ナ譯デ、臣節ト云フ一
點ニ於テハ私ハ山本内閣當時ト雖モ、今日
ト雖モ違ヒマセヌ、今後ト雖モ違ヒマセヌ
ト云フコトヲ御答ヘ申上ゲマス

○子爵大河内輝耕君 只今項目ヲ舉ゲテ色
色伺ヒマシタガ……

○國務大臣(犬養毅君) モウ一ツ忘レテ居
リマシタ……

イ、併ナガラドウシテモ醫者ノ説、主任醫
ハ理想的ニ、順調ニ進ンデ行テモマダ四
箇月カカルト、是ハ極ク順調ニ行テソレ
デアアル、若シ順調ニ行カナケレバ次ノ議會
ニモ出ラヌト云フコトガアルト是ハ曠職
……、ソレ迄靜養スルト云フコトハ恐縮ニ堪
ヘナイ、斯ウ云フ意味デ辭シタイト申サレ
タノデアリマス、ソレデ私ハ之ニ同意ヲシ
タデアリマス、病氣デナイモノヲ病氣ト
シテハ居リマセヌ、實際、病氣デアリマス、
ソナラ不治ノ病カト云フト不治ノ病デハ
ナイ、輕ク治ルデアラウト思ヒマシタカラ
私ハ長ク引留メテ置イタノデアリマス、新
聞デ書イテアルヤウナコトハ全然違フ事
柄デアリマス、櫻田門ノコトニ責任ヲ執
テ辭スレバ疾ウニ辭シテ居リマス、私共ノ
見解ハ直接御警衛ノ任ニ當タ者以外ハ内
閣全體ノ責任デアアル、斯ウ云フ解釋デア
(拍手起ル)

○子爵大河内輝耕君 御間ノ致シヤウガ惡
カッタノカモ知レマセヌガ、最後ハ能ク分リマ
シタ、初ノ方ノ御尋ヘ、柳澤伯爵ニ御答ヘ
ニナツタコトヲソククリ其儘ニ留メマシテ
ヨット理解シ兼ネル點ガアリマスガ、先ヅサ
ウ云フヤウナコトハ、細カイコトハ……、細
カイト云フコトモゴザイマセヌガ、色ミナ
コトハ抜イテ置キマシテ、二三伺ヒタイ、
時局重大デアアルカラ留任サレタト言ハレテ
居ル一方ニ、此問題ハ憲法論、政治論ニ超
越シタ問題デアアル、斯ウ云フヤウニ御話ニ
ナツタ、此點ガ私ニハ分ラナイ、憲法論、政
治論ニ超越シテ責任ヲ執ラナケレバナラス
ナラバ、時局ガ如何ニ重大デアラウトモ、
責任ヲ御執リニナラナケレバナラス、ソコ
ヲ一ツ伺ヒタイ

(國務大臣犬養毅君演壇ニ登ル)

○國務大臣(犬養毅君) 山本内閣當時ニ其
論ガ出マシタ、直接御警衛ニ當テ居ル者、
竝ニ内務大臣ト云フモノガ、他國ノ例ナラ
バ、其位ノ所デ濟ムデアラウ、併ナガラ、

特異ナ國體デアル、ソレデ殊ニ最モ日本ノ強味ハ、如何ナル國內ニ紛争ガアツテモ一ツ詔勅ガ出レバ、全部ノ争ヲ止メテ、一團トナツテ當ル、斯ウ云フ國デアル、此事柄ハ重大ニ取扱ハネバナラス、斯ウ云フ考デ參、タノデアリマス、今日モ其考デアレバコソ、全部ガ辭表ヲ出シタノデアリマス、ソレカラ先ハ只今申ス通り、腹ヲ切ッテ済ムカ、進ンデ此責任ヲ盡スカ、ドチラヲ選ブ、今日ノ場合ハ進ンデ責任ヲ盡スノダ、ドッチモ同ジコトデアル、斯ウ考ヘタノデアリマス

○子爵大河内輝耕君 段々分ッテ參リマシタ、度々仰シタル通り、今日ノ場合ハ、責任ヲ盡スノデアアル、度々伺ッテ分ッテ居ル、只今ノ御話デアレバ、詔勅ニ依ッテ、今迄ノコトハスッカリ消エシマツテ、一團トナツテ仕事ヲアルノダ、斯ウ仰シヤレバ、即チ今迄辭表ヲ提出セラレタノハ、提出ハセラレタケレドモ、優詔ガ降ルヲ爲ニ、ソコデ變テ來テ、今度一團トナツテ國務ニ盡ス、斯ウ云フコトニ了解イタシマシタ、其點モ分リマシタカラ、是デ……

○國務大臣(大藏省) 是モ誤解ノナイヤウニ申上ゲテ置キマス、詔勅ガアツテ、所謂衰龍ノ袖ニ隠レテヤルト云フ意味デアリマセヌ、是ハ總テ内閣補弼ノ責任ノ内ニアルノデアリマス、ソレ故ニ私ハ退イテ熟慮シ、協議シ、ドチラヲ執ルカト云フコトヲ決定シタノデアリマス、全部補弼ノ責任ニ屬スルモノデアリマス

○議長(公卿德川家達君) 書記官ヲシテ報告ヲ致サセマス

(山本書記官朗讀)

本日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ
昭和六年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)、昭和六年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)、昭和七年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)、昭和七年度各特別會計歳

入歳出豫算追加案(特第一號)可決報告書

○議長(公卿德川家達君) マダ時刻ハ少シ早ウゴザイマスガ議事ノ都合上ニテ休憩ヲ致シマス、午後ハ一時三十分ヨリ開會イタシマス

午前十一時五十一分休憩

午後一時三十六分開議

○議長(公卿德川家達君) 是ヨリ書記官ヲシテ報告ヲ致サセマス

(山本書記官朗讀)

本日請願委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 子爵清岡 長言君
副委員長 男爵北河原公平君

○議長(公卿德川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、大河内子爵ニ伺ヒマス、大河内子爵ノ質疑ハ全部終了シタモノト認メテ宜シウゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 先程ノ問題ニ付キマシテモダ伺ヒタイコトモゴザイマス、アレハ質問ノ前提デゴザイマシテ、私ハ此時局ノ財政問題其他ニ付キマシテ尙ホ御尋ラ致シタイコトヲ多ク持ッテ居リマスガ、併シ何分ニモ期日ノ短イコトデゴザイマス、ソレ等ノ問題ニ付キマシテハ、只今休憩中ニ伺ヒマシタ所ニ依リマス、今後色々御質問ニナル御方モアルヤウニ存ジマスカラ、私ハ御遠慮申シテ此程度デ止メテ置キマス

○議長(公卿德川家達君) 是ヨリ通告願ニ依リマシテ、加藤政之助君ノ質疑ノ發言ヲ許シマス

(加藤政之助君演壇ニ登ル)

○加藤政之助君 私ハ五十年來公私ノ關係ニ於テ大養君トハ親シキ間柄デアリマス、ソレ故ニ同君ガ此度内閣ヲ組織セラレテ、施政ノ衝ニ當ラレマス以上ハ、私ハ其成績ヲ惡シカレカシト呪フモノデアリマセ

ス、善カレカシト祈ル所ノ者デアリマス、故ニ今日此演壇ニ立チマシテモ、諷刺ノ言辭ヲ弄シテ人心ヲ煽動シヤウトハ致シマセヌ、又無根ノ事實ヲ連ネテ議論中傷シヤウトモ考ヘマセヌ、唯今日現在ニ於テ、有ノ儘ノ事實ヲソクク其儘ニ申述ベテ、而シテ疑點ノアル所ヲ御質シマシテ、私ト共ニ現在ノ政治ニ付テ疑ヲ懷イテ居ル方々ノ疑ヲ解キタイト斯様ニ思フノデアリマス、ソレ故ニドウゾ大養君以下私ガ御質問申上ゲル事柄ニ付テハ、右ノ意味ヲ成ルベク簡單明瞭ニ、氷解ノ出來ルヤウニ御答辯ヲ煩ハシタイト私ハ思フノデアリマス、而シテ此軍事費ハ滿洲ニ於ケル我國ノ權益擁護、支那在住ノ同胞ノ現地保護ノ爲ニ出征ヲサレテ居ル必要缺クベカラザル費用デアリマスカラ、之ヲ協贊スルコトハ申ス迄モナイコトデアアルガ、唯一點御伺フシテ置キタイノハ、過日陸軍省カラ軍事費ノ參考書ヲ廻ハサレタ、ソレヲ見ルト云フト、其中ニ六百萬圓ト覺エマスガ、機密費ガ掲ゲテアル、過去ノ實例ヲ見マスルト云フト機密費ハ或ハ二百萬圓前後ヲ要シタコトモ、タヤウデアリマス、六百五十萬圓ト云フノハ極メテ巨額ニ過ギルヤウニ思フ、機密費ノコトデアアルカラ使途ヲ明瞭ニ御答ヘ出來マスマイガ、兎ニ角此巨額ノ機密費ガ要ルノデアルト云フコトヲ國民ニ了解セシムル程度ニ於テ御説明ガ出來マスルナラバ、ソレヲ拜聴スレバ至極結構ト思ヒマス、ソコデ私ハ我國ノ此現在ノ財政經濟ヲ大觀イタシマス、ソレハ何デアアルカト申シマスルト云フト、歳入ハ歳出ヲ償フコトガ出來ナイ、歳入ニハ赤字ガ續出スル、歳出ニハ已ムヲ得ザル費用ガ續々起ッテ來ル、斯ウ云フ有様デアアル、我國ノ財政經濟ハ今日危機ニ立ッテ居ルト申シテモ差支ヘナイト斯様ニ思フノデアリマス、今数字ノニ現在ノ財政狀況ヲ陳述イタシテ見マスルト云フト、斯ウ云

フモノニナルヤウデアリマス、先刻高橋大藏大臣ノ此演壇デ御述ニナリマシタ通り、六年度ノ軍事費ハ八千七百三十四萬圓デアアル、七年度ガ五千九百五十一萬九千圓デアアル、恐ラク此後始末、漸ク平和ニナリカケテハ居ルヤウデアハアリマスガ、尙ホ其後始末ノ爲ニ少クモ五千萬圓位ノモノハ要リハシナイカト私ハ推想スル、サウスルト此總計ガ一億九千六百八十五萬九千圓、六年度ノ豫算ノ赤字ヲ見マスルト云フト六千五百萬圓デアアル、七年度ハ矢張りドウモ今日ノ經濟界ノ狀勢デハ矢張り赤字ガ出ルノデハナイカト斯様ニ思フ、サウスルト云フト、先ヅ七千萬圓位ノモノハ豫想シテ置カネバナラス、ソレカラ此間金ノ輸出ヲ再禁止ヲシマシタニ付テ、爲替ガ下落シテ居ル、此爲替ノ下落ノ爲ニ、爲替ノ差損金、是ハ五千萬圓前後ト大藏省ハ發表シテ居リマシタガ、恐ラクソレデ足ルマイ、少クトモ六千萬圓要リハセヌカト斯ウ思フ、又失職者ノ救済、是ハ前内閣ガ幾分失職者ノ救済ニ努力イタシマシタガ、ソレデハ足ラナイ、不十分デアルト云フトハ、政友會ノ諸君ノ常ニ高唱セラレタ所デアリマス、サウスレバ少クトモ此方面ニ向ッテ、一億萬圓位ノ金ハ御支出ナサルコト云フ御考ヘデナケレバ、前ノ言實ヲ全ウスルコトハ出來ナイト思フ、ソレカラ物價ガ金輸出再禁止ノ爲ニ騰貴シテ居ル、之ニ對シテ國費ノ餘計ニ支出ノ要ルモノガ、少クトモ三千万圓位ハアラウト思フ、ソレカラ退職交付金、是ガ千五百萬圓位ハ要ラウト思フ、滿洲事變ノ救済、之ニ對シテモ三千万圓位ノ金ハ要リハセヌカト思フ、新規公債ヲ發行スル、其利子モ三千五百萬圓位要ラウト思フ、七年度外債ノ償還五千八百九十七萬八千圓、ソレカラ前内閣ガ作ッテ豫算、是ハ一般會計、特別會計ヲ合セテ公債一億九千万圓、是ハ募債ヲスルコトニ豫算ニ決マツテ居ル、サウスマスルト云フト之ヲ總計スレバ、八億

五千八百三十三萬七千圓、外ニ借換ノ内外債
ガ二億三千六百萬圓アル、斯ウ計算シテ行
キマスルト云フト、之ニ非常ナ誤リガナイ
モノトスレバ拾億ノ金ハ、此始末ヲスル爲
ニハドウシテモ使ハナケレバナラヌ、デ之
ヲ何レノ方面カラ財源ヲ御求メニナルノデ
アリマセウカ、現在ノ所見マスルト云
フト歲入ハ足ラナイト云フノデアリマスル
カラ、ドウシテモ是ハ公債ヲ支辨スル外仕
方ガナイト云フコトニナリマセウ、所ガ今
日ノ經濟界ノ一般ノ市場ヲ眺メテ見マスル
ト云フト、此一般ノ市場此巨額ノ公債ヲ
募集スルナドト云フコトハ思ヒモ依ラヌ、
寧ロ銀行ハ段々手詰テ或ハ休業シ、或ハ閉
店スルト云フモノガ近クハ續々現ハレテ居
ル、愛知、岐阜ナドニ於テ現ニ然リデアリ
マス、デ此銀行ノ休業閉店、是ハ殆ド全國
的デアル、寧ロ此方面カラ政府ニ向テ資金
ノ融通ヲ求メツツアルト云フ今日ハ狀況デ
アリマス、東京ノ組合銀行、此狀況ヲ承
テ見マスルト云フト、三月ニ入ッテ……今
月ニ入ッテ預金ノ高ガ著シク減ジタ、一億三
千五百萬圓程減ジタノデアリマス、サウシ
テ其總額ハ拾九億六千萬圓ニ下ッテ居リマ
ス、斯カル狀況デアリマスレバ、一般ノ市
場カラ公債ヲ募集スルト云フコトハドウモ
不可能デアル、出來得ヌヤウニ思フ、ソレ
デ高橋大藏大臣モ、先頃以來公言セラレテ
居ルノニ、公債ハ一般ノ市場デハ成ルベク
募集セヌ、外ノ方法デ之ヲ辨ズルト云フコ
トニシタイト云フ御考ノヤウデアリマス、
サウ云フ御考ノ出ルコトハ當然デアリマ
ス、サウスレバ何レノ方面デ之ヲ募集スル
カ、マア第一ニ數ヘルノハ預金部デアル、
預金部ハ一般ノ銀行ノ近來不信用デアルニ
連レテ郵便貯金ガ次第々々……漸次
増加シテ居ルト云フコトハ事實デアリマ
ス、事實デアリマスルガ此預金部ノ現
在ノ手許ヲ眺メマスルト云フト、或ハ
一億カ、多ク行ッテ二億ト云フ程度ナレ

バ、融通ガ出來ヌコトハナイカモ知レナ
イ、ソレ以上ノ公債引受ヲ預金部ニ迫ル
ト云フデモソレハムツカシイコトデアリマ
セウ、預金部然リトスレバ外ハ何處ニ求メ
ルカ、日本銀行ニ求メルホカハ仕方ガナイ、
所ガ日本銀行モ過去兌換券ヲ相當發行シ
テ居リマス、發行餘力ト云フモノハ極メテ
乏シウゴザイマス、強ヒテ引受ケルトナレ
バ不換紙幣ヲ増發スルホカ仕方ガナイ、
不換紙幣ヲ増發スルナレバ通貨ハ膨脹イ
タシマス、物價ハ騰貴イタシマス、公債ハ
下落イタシマス、茲ニ經濟界ノ混亂ガ起ル
憂ヒガアルト私ハ思フ、此方面デ若シ前申
上ゲルガ如キ巨額ノ公債ノ募集ガ出來ヌト
スレバ、結局増稅ニ依ルノホカ途ガアリマ
スマイ、政府ノ當局者ハ斯カル財政經濟ノ
現狀ニ於テ、經濟界ノ安定ヲ維持スルノ途
ガ正確ニアリマセウカ、以上ノ如キ巨額ノ
公債ヲ消化スル方法ガ何レカニアリマセウ
カ、アルナラバソレヲ明言シテ安心サセテ
欲シイト思フノデアリマス、次ハ國際ノ貸
借デアリマス、此金ノ輸出ノ再禁止ヲ現政府
ハ組閣直後ニ實行ヲサレマシタ、其以前ニ前
内閣ガ不用意デ十分ノ準備ナクシテ金ノ輸
出ヲ解禁シタモンダカラ、ソレガ爲ニ經濟
界ハ不安ニナッタ、不景氣ハソレガ爲ニ助長
セラレタト云フコトガ、當時在野黨デアリ
シ政友會ノ諸君ノ主張デアリマシタ、ソレ
デ組閣後直ニ再禁止ヲセラレマシタ、此金
ノ輸出再禁止ガ不景氣挽回ノ唯一ノ手段デ
アルカノ如ク御吹聴ニナッタノデアリマス、而
シテ此再禁止ノ爲ニ爲替ハ三割以上ノ下落
ヲ致シマシタ、茲ニ於テ高橋大藏大臣ハ曰
ク、此再禁止ノ爲ニ爲替ガ下落シタ、三割
下落スレバ外國品ニ對シテ三割ノ課稅ヲシ
タト同様デアル、故ニ外國品ノ輸入ハ是ヨ
リ防止セラレラデアラウ、輸入ハ減ゼラレ
ルデアラウ、輸出ハソレダケニ段々下ガル
ノデアルカラ日本品ハ……輸出ハ益々増加
スルデアラウ、斯クシテ國際貸借ハ改善ノ

緒ニ就クノデアル、或ハ金本位復舊モ其結
果デ出來ルノデアル、斯ウ云フコトヲ公言セ
ラレマシタ、是ハ當時ノ新聞紙ニ掲ゲラ
レテアリマシタカラ、諸君ノ御記憶ニ新タ
ナル所デアラウト思フ、此高橋大藏大臣ノ
言ハレルガ如キ金輸出ノ再禁止ニ依ッテ結果
ガ生ジマスナラバ、是ハ誠ニ結構ナ政
策デアル、サウ云フ結果ヲ見マスルナラバ
我ニモ喜ンデ再禁止ヲ歡迎スルノデアリマ
ス、所ガ事實ハ如何デアリマス、大藏大臣
ノ聲言ハ總ベテ裏切ラレテ居ルト私ハ思
フ、何故デアアルカト申シマスルト、昨年ノ
春ニ於テハ、一月頃ニ於テハ寧ロ平生ナラ
バ輸入超過期ニ入ルベキ筈デアル、併ナガ
ラ輸出超過ヲ續ケタノデアリマス、所ガ本
年ハドウデアアルカト申シマスルト、本年ノ
二月ニ入リマシテハ一億圓以上ノ輸入超過
ヲ致シテ居リマス、三月ノ中旬ニナッテ尙ホ
輸入超過ハ止マナイノデアリマス、三千万
圓ホド増加イタシテ一億三千万圓ニ現在垂
ントシテ居ルノデアリマス、左様ナ次第デ
アリマスカラ、恐ラク本年中ニハ差引キ輸
入超過ハ三億以上ニ上ボルノデハナイカト
豫想スルノハ、無理ナ豫想デハナイト思フ
ノデアル、此事實カラ見マスルト云フト、
全ク大藏大臣ノ豫想ハ……豫期ハ事實ノ爲
ニ裏切ラレテ居ルト云フコトハ明瞭デ、何
人モ然ラズト之ニ抗辯スルコトハ私ハ出來
ヌノデアラウト思フ、ガ併ナガラ尙ホ大藏
大臣及現内閣ハ、此國際貸借ヲ前途好轉セシ
ムルト云フ期待ヲ今日デモ抱カレテ居ルノ
デアリマス、私ハソレヲ明ニ御答辯ヲ願
ヒタイト思フ、産業振興ノ五箇年計畫、是
ハ政友會ノ政策トシテ世間ニ既ニ公言シ、
誓ハレタル所ノ問題デアリマス、私モ一昨
昨年歐羅巴ヲ巡ッテ參リマシテ、ドウシテモ
我國ノ産業ハ大ニ振興ヲ圖ルデナケレ
バ、我が日本ノ經濟界ノ復興ヲ圖ルコトハ
出來ナイト云フ考ヲ持チマシタガ、併シ其
財源ガ如何ニ考ヘテモ無い、若シモ之ヲ強

ヒテヤラウトナレバ、我國ノ富豪ニ對シテ
特別ノ課稅デモシテ、産業復興ノ爲ノ資金
ヲ其方面カラデモ求メタナラバ、一番無難
デナイカト斯ウ考ヘマシタガ、併シサウ云
フ說ハドウモ十分ニ共鳴ヲ得ルコトガ出來
ナイ、ソレデ私ハ思ヒ止ッテ居タノデアリ
マスガ、政友會ノ諸君ハ、五箇年計畫、年
ニ一億ツツ出シテ五億圓、而シテ十億ノ利
益ヲ收メル、生産増加ヲ求メル、斯ウ云フ
コトヲ言ハレテ居リマスガ、其一億ノ財源
ヲ何レニ御求メニナルノデアリマセウカ、
其財源ヲ若シ公債ニ御求メニナルト云フノ
デアアルナラバ、前申上ゲタガ如ク、公債ハ
既ニ巨額ニ上ッテ募集ノ餘地ガ無いノニ、今
日其上其財源ヲ公債ニ求メルト云フ御見込
ガ立チマセウカ、ソレモ一ツ伺テ見タイト
思フ、ソレカラ大養君ハ、現在ノ總理大臣
ハ、在野當時、自分達ガ政權ヲ掌握スルナ
ラバ、今日ノ國民ハ負擔ノ重キニ苦ンデ居
ルカラ、五千万圓ノ減稅ハ直チニ實行スル
斯ウ云フコトヲ屢、御演說ニナリマシタ、而
シテ其財源ハ何レニ求ムルカト云ヘバ、官
業ノ整理ニ依ッテ其財源ヲ生ミ出スノデア
ルト云フコトハ、明カニ御述べニナッタヤウ
ニ私ハ記憶シテ居ル、必ズ大養君此記憶ヲ御
喚ビ起シニナルデアラウト思フ、ガ今日モ
尙ホ大養總理大臣ハ、五千万圓ノ減稅ヲ過
去ノ國民ニ誓約シタ其政策ニ對シテ、實行
ナサルト云フ考ヲ持ッテイラシヤラウカ、
或ハ今日ノ官業ノ整理シテ五千万圓ト云フ
財源ガ出ルト云フ望ガアルノデアリマセウ
カ、私ハ今日ノ官業ヲ如何ニ整理シテモ、
恆久的ノ五千万圓ノ財源ヲ出スナドト云フ
コトハ、思ヒモ寄ラヌト思フノデアリマス
ガ、成算アリト云フナラバ、其成算ヲ承リ
タイ、又次ニハ大養君ハ經濟的軍備ノ縮小
ト云フコトヲ御唱ヘニナリマシタ、是ハ如
何ナル意味カト云ヘバ、今日ノ軍事費ハ世
界列國トモ巨額ニ上ッテ居ル、我が日本モ比
較的ニ多イ、故ニ此軍備ヲ整理シテ、サウシ

テ此軍事費ノ負擔ヲ輕減シヤウト云フ御考
デアッタラウト推察ガ出來ルノデアリマス、

○國務大臣(大養毅君) 此位デハ聞エマセ
ヌカ

〔聞エマセヌト呼フ者アリ〕

ガ過去ノ内閣、軍事費ノ整理ヲ努メザルニ
非ズ、努メテ見タガ、一方ニ整理シテ減ズ
レバ、一方ニハ新タナ必要ガ起ルト云フノ
デ、此減ジタ金ハ遂ニ新タナ費用ニ吸集セ
ラレ、之ガ爲ニ國民ノ負擔ヲ輕減スルナド
ト云フコトハ、事實ニ實行ガ出來ナカッタ、現
内閣ハ而モ三百名ト云フ多數ノ議員ヲ擁シ
テ、議會ニ於ケル基礎ハ誠ニ固イノデアリマ
スカラ、此力ニ依テ爲サレタナラバ、或ハ
軍費ノ整理、軍事費ノ整理ヲシテ國民ノ
負擔ヲ輕減スルト云フコトモ、出來ザル限
リデハナイト思フ、果シテソレヲ斷行ナサ
ルト云フ御考ガアルノデアリマセウカ、要
スルニ今日ノ財政經濟ノ現狀ヨリ推シマス
レバ、私ハ前途甚ダ憂慮ニ堪ヘヌモノガ多
イ、寧ロ我國ノ經濟界ハ好景氣ニ轉ズルニ
非ズシテ、前途ハ不況ニ陥ルノデハナイカ、
是ヨリ益、惡クナルト云フノデハナイカ、ソ
レデハ國民生活ノ安定ヲ得ル爲ニ、我々ハ
安シク居ルコトハ出來ナイ、併シ現内閣
ガサウ云フ危機ヲ招カズシテ、今日ノ財政
經濟ノ窮境ヲ切抜ケルト云フ名案ガアリマ
スルナラバ、茲ニ明カニソレヲ御答辯下サ
レテ、國民ノ安心ヲ買フヤウニ致シタイト
云フ希望デアリマス、尙質問シタイコトハ
幾ラモアリマスガ、先ヅ短時日ノ會議デア
リマスカラ、是ダケヲ御尋ネラシテ、御答
辯ヲ煩シタイト思ヒマス

〔國務大臣大養毅君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(大養毅君) 只今御尋ネニナリ
マシタ簡條ノ中デ、大藏ノ財政經濟ニ關係
シタコトハ、何デモ傳ヘテ置イテ此次ニ御
答ラシテ宜イト云フ質問者ノ御考ダサウデ
アリマスカラ、是ハ除キマス、ソレカラ陸
軍モ同様デアラウト思ヒマスガ、唯茲
デ……

〔高イ聲デ御願ヒラシタイノデスガ〕
ト呼フ者アリ〕

シ上ゲテ皆地方ヘ送テ置ケ、サウスレバ經
濟上カラ言ヘバ、兵營ニ在留スル在營年限
ガ短縮スレバ、是ハ生産ノ方ヘ向イテ行タ
ノダ、サウシテ一方ニハ學校ヲ早く卒業ス
ルノデアルカラ、戰時ノ軍隊ハ、用員ハ澤
山出來テ來ル、是ガ私ノ素論、ソレダカラ
其後ニ行ハレマシタ青少年訓練、當時私ノ
唱ヘテ、大養ノ空論ダト言ハレタノハソレ
デ、青少年訓練ハドウカ、百姓ハ野ニ出ル
通りノ服裝デ、サウシテ部隊教練ヤレ、
是ガ私ノ議論ナノデアル、私ハ唯空想デハ
ナイ、之ヲ主張スル迄ニハ餘程研究イタシ
タルデアリマス、ソレ故ニ常設師團ヲ減ジ
ルト云フノハ、ソレカラ出タノデアリマ
ス、例ヘバ二年在營ノ者ガ一年ニナレバ、
學校タル常設師團ハ半分ニナレバ、行ケル
デハナイカ、是ハ步兵ノ場合ダケダゾト云
フコトヲ附加ヘタ、例ヘバ步兵バカリノ場
合ヲ以テアレバ……特科兵ハサウハ行キマ
セヌ、一年デアリマス、一年デ卒業サセレ
バ、步兵ノ場合ハ半減シテ行クノデハナイ
カ、是ガ私ノ主張デアリマス、元來經濟的
軍備縮小トハ言ハナイ、私ノハ經濟的軍備
擴張ト言フデアリマス、ソレハ日露
戰爭前デアリマス、其後大養ノ空論ト云ハ
レタ青少年訓練モ段々出來テ、餘程今日進
歩シテ居ルト云フノデ、私ハ喜ンデ居ル、
斯ウ云フモノデアル、ソレデアルカラ、ア
ナタノ御考ハ尾崎君、島田君、世界ハ平和
ナモノダト云フ前提ノ下ニ兵力ヲ減ジヤウ
ト云フノト、私ハ經濟的ニ保テ置イテ、之
ヲ有用ニ使ハウト云フ論ナノデアリマス、
今日モ此論ハ棄テ、ハ居リマセヌ、是ハア
ナタガ御記憶ハ古イコトヲ御記憶ニナッテ居
ルガ、大體ノ趣意ハ御記憶ガ間違テ居ルト
存ジマスカラ、是ダケヲ御答イタシテ置キマ
ス

○加藤政之助君 只今總理大臣ハ機密費ニ
付テハ更ニ當局者カラ御話ガアルヤウニ御
答ガアッタト思ヒマスノデ、ソレハ重ネテ御
尋ハ致シマセヌ、次ノ五千萬圓ノ減稅ト云
フコトハ、是ハ十年モ前ノコトデアル、古
證文デアルト云フヤウナ御話デアリマシタ
ガ、是ハサウデハナイ、多分一昨年カト思
フ、大養君ガ地方遊説ニ出ラレテ、サウシ
テ此遊説ノ當時ニ、其御演説ヲナサレタコ
トハ、新聞ニハハッキリ載テ居ル、デアリマ
スカラ、十年前デアルト云フコトハ大養君
ノ御記憶ノ違ヒデ、或ハ其御考ヲ起シタノ
ガ十年前カモ知レヌ、併シ其事ヲ世間ニ御
述ベニナッタノハ、決シテサウデハアリマセ
ヌ、私ハ若シ強ヒテサウデアルト仰シヤル
ナラバ、其當時ノ新聞ヲ一ツ搜シテ更ニ御
話ヲ申上ゲマス、ソレカラ經濟的軍備縮小
ト申シタノヲ、大養君ハ經濟的軍備擴張ト
云フコトヲ言フデアル、今日モ尙尙經濟
的ニ一方ヲ切り詰メテヤラウト云フ考ハ
持テ居ルト云フ御話デアリマス、若シ經濟
的軍備整理ガ十分ニ出來マスルナラバ、ソ
レモ誠ニ結構デアリマス、矢張り國民ノ負
擔輕減ノ一端デアリマスカラ、出來ルナラ
バ一ツ御實行ヲ願ヒタイト私ハ考ヘマス、
ソレダケデアリマス

〔國務大臣大養毅君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(大養毅君) 極ク簡單ニ加藤君
ノ御分リ易イヤウニ申上ゲマスガ、前内閣
デモ、行政整理、財政整理、色ニナコトラ
ヤラレタ、其前ニモヤラレタコトガ澤山ア
リマス、ソレデ此筆法デナクテ私ハヤリタ
イト考ヘテ居ル、私ハ役人トシテノ經驗ハ
極メテ少イ、併ナガラ僅ナ役人ヲシテ經驗
デ、天引ハ何ニモナラナイ、無意味デア
ルト云フコトヲ自分ハ役人トシテ感シタノデ
アリマス、ソレハ懷中ノ大キナ所ノ官廳ニ
ナリマスルト、天引サレテモ平氣デス、ソ

レカラ、ソレガ司法省ダトカ、文部省ダト

カ、小サイ所ニ行クト、是ハ急ニ困ルノデ
ス、ソレデ、ソシナモノデ、天引ニセヨ、
色ニナコトデ、ツキ捜シタ後ニ、サウアナ
タガ望マレル通りニ行クカ行カヌカト云フ
コトハ問題デアル、併シヤルカト云ヘバ、
確カニ私ハヤテ見ル、斯ウ云フノデアリマ
ス、ソレカラ全體ノ景氣ヲ回復スル腹案ガ
アルカ、アリマス、此内閣ハ御承知ノ通り
十二月ノ中頃ニ出來マシテ、ソレカラ種々
ナ事故ニ出會ヒ、海外ノ事變トカ、コンナ
モノデ遅レテ居リマスガ、次ノ議會マデニ
ハ全部ヲ揃ヘルコトハ出來マセヌガ、其一
部ノ端緒ヲ現ハシ得ルト思フノデアリマ
ス、ダカラ加藤君ガ御心配ニナルヤウニ、
此内閣ハ景氣ヲ回復シ得ナイデハナイカ、
確カニ回復シテ御目ニ掛ケル、斯ウ云フ確
信ヲ持ッテ居リマス、ドウゾ御安心下サイ
○加藤政之助君 尙ホ一言發言シタイノデ
スガ、宜シウゴザイマスカ
○議長(公卿德川家達君) 宜シウゴザイマ
ス

○加藤政之助君 極ク簡單ニ一言……大養

總理大臣ハオ前ノ心配ハサウデアアルカモ知

レナイガ、現内閣ハ組織セラレテ尙ホ日ガ

淺イノデアアル、故ニ次ノ議會マデニハ必ズ

其片鱗ヲ現ハス、斯ウ云フコトデアリマシ

タガ、ソレハ片鱗デモ現ハシテ貰ヘバ結構

デアリマスガ、出來得ベクシバ國民ノ安心

スルヤウニ今日ノ危機ヲ全ク匡正スルト云

フコトノ案ヲ立ッテ貰ヒタイト私ハ思フノ

デアリマス、只今私ガ陳述イタシタ總テノ

項目、公債ヲ募集セズニ而モヤリ得ルカ、成

ルベク募集スルナラバドウ云フ方法ヲ募集

スルカト云フコトヲハ、キリ御答辯ヲ願ヒ

タイ、今ノデハ一向モノニナラヌト私ハ思

ヒマス

(國務大臣大養毅君演壇ニ登ル)

○國務大臣(大養毅君) 財政當局ハ衆議院

ニ今臨ンデ居ラレマス、ソレデ何カ御交渉

イタシタ結果ト私ハ承ッテ居リマスガ、此處

デ加藤君ノ御疑問ヲ承ッテ置イテ、サウシテ

此次ノ機會、ト言ヘバ何レ本議會デハゴザ

イマスマイガ其時分ニ御答ヲスレバ宜イ、

斯ウ云フ話デアッタト私ハ承知シテ居リマ

ス、若シ即席ニ御答ガ必要デアリマスレバ、

政府委員ガ二人モ參ッテ居リマスカラ何時

デモ御答ハ是ハ出來ラレルノデアリマス、

ソレカラ國民ノ安心スルヤウニ、是ハ無論

ノコトデアリマス、ソレデカラ加藤君ノ仰

シヤル公債ヲ募集ラズ赤字ヲ誰ガ出スヤウニ

ソレデハシタノカ、是ハ餘儀ナイ、僅カノ

兵ヲ出ス金ガ何モ無イ、赤字許リデアル、

此際ヲ引受ケテ居ルノデアアルカラ、ダカラ

公債ヲ募集ラズニ安心サセル、ソシナコトハ

出來マセヌ、是ハ何レ財政當局カラ御答イ

タシマセウ、ソレカラ加藤君ノ御求メガナ

クテモ國民ハ我ミニ對シテ必ズ此經濟界ヲ

建直シテ呉レルデアラウ、總テノモノヲ建

直シテ呉レルデアラウト云フコトノ望ミガ

三百人ヲ獲タノデアリマス、之ニ對シテモ

我ミハ是非共ヤルノデアリマス、是ダケハ

御安心下サイ

○議長(公卿德川家達君) 次ハ矢吹男爵ニ

發言ヲ許シマス

(男爵矢吹省三君演壇ニ登ル)

○男爵矢吹省三君 只今當院ニ滿洲事變ニ

關スル追加豫算ガ上程サレテ居ルノデアリ

マスガ、其數字ハ先程大藏大臣ノ御説明ヲ

同ヒマシテ承知イタシタノデアリマス、本

年即チ三月末日迄ノ所要ノ經費ガ八千七百

萬圓、三月以後四月、五月ニ互ルモノガ五

千九百萬圓合セテ一億餘圓ニ互ル大ナル

軍事費ニ付テノ協賛デアリマス、且ツ此軍

事實ハ自衛權ノ發動ノ結果デアリマシテ、

御承知ノ如ク我ガ忠勇ナル多數ノ將士ガ其

爲メ犧牲トナッタノデアリマシテ、此點カ

ラ見マシテモ洵ニ重要ナル意義アルモノ

ト考ヘルノデアリマス、而シテ帝國ガ滿洲

ニ於テ或ハ上海ニ於テ斯ノ如キ自衛行爲

ヲ爲サザルヲ得ナカッタ原因ガ何デアッタカ

ト云フコトハ今更申ス迄モナイコトデアリ

マスルガ、一ニ支那ノ暴戾ナル排日運動ガ之

ヲ爲サシメタモノデアルト云フコトハ言フヲ

俟タヌノデアリマス、即チ斯ノ如キ暴戾ナ

ル排日ノ結果我ミハ貴キ多數ノ生命ヲ失ヒ

又此處ニ一億餘ノ經費ノ負擔ヲ爲サザルヲ

得ナキ場合ニ相成ッタノデアリマシテ、此際

我ミトシテ其原因タル排日運動ニ對シテ不

問ニ付スル譯ニハ參ラヌノデアリマス、是

非トモ此コトニ對シテ國民トシテ言及シ且

又政府ノ之ニ對スル所見ヲ質スト云フコト

ハ我ミハ最も必要ナルコトト考ヘルノデアリ

マス、私ノ質問ハ此點ヲ以テ質問ノ要點ト

シタイト思フノデアリマス、排日運動ノ經

過等ニ付テハ今更茲ニ申上ゲル必要ハナイ

コトト考ヘマスガ、言フ迄モナク國民政府

ハ其外交上ノ手段トシテ、目的ヲ達スル手

段トシテ排日其他ノ排外運動ヲ漸次行ヒ、

而シテソレガ唯本來ハ長江筋ニ留マッタモ

ノガ今日デハ滿洲ニモ及ンダト云フコトガ

年ト共ニ甚シクナッタ結果、滿洲事變ガ起

タノデアリマスカラ、此滿洲事變ガ起ッテ日

本ハ自衛行爲ヲ執リ或ハ一方ニ於テハ支那

ニ對シテ排日ニ對スル重要ナル抗議ヲ提シ

タコトモ能ク御承知ノコトト思ヒマスル

ガ、斯カル抗議ニモ拘ラズ依然トシテ上海

ニ於テ排日ヲ行ヒ殊ニ滿洲事變以後ハ益々

甚シク相成ッタ結果、上海事變マデモ惹起シ

タト云フコトニナッタ居リマシテ、帝國政府

トシテ屢、此排日ニ付テ、排日ニ對スル……

支那ニ對スル警告ハ至レリ盡セリ致シテ居

ルノデアリマス、滿洲事變以後十月九日

ニ政府ハ支那ニ對シテ排日ニ關スル抗議ヲ

致シテ居リマスガ、其内容ハ滿洲事變ハ全

ク排日ニ結果スルモノデアアル、而シテ今日

モ尙ホ支那ガ排日ニ付テ改メザレバ一層事

變ヲ複雑化シ重大化シテ其責ハ全ク支那ノ

ミガ負フベキモノデアアル、又十月三十日ノ

國際聯盟理事會ノ決議ハ所謂事態ヲ擴大セ

ザルヤウニト云フ決議デアリマシタガ、此

決議ノ趣意ニモ排日ヲ行フ者ハ反スル者デ

アル、此決議ニ對スル支那政府ノ責任モ喚

起シテアルノデアリマス、ソレニモ拘ラズ

支那ハ上海ニ於テ排日ヲ益々盛ンナラシメ

タノデアリマシテ、此排日ト云フコトハ全

ク支那自身ノ國策遂行ノ手段トシテ自己本

位ナ利己的ナ而モ其手段タルヤ亂暴千萬ナ

ル又極端ニハ私刑マデモ行フト云フ抗日會

ノ如キ團體ノ存在ヲ許シテ置クト云フコト

ハ組織アル國家トシテハ到底想像シ得ナイ

事柄デアリマスガ、現實ニ左様ナコトガ支

那ニ於テ行ハレテ居ルノデアリマス、斯ノ

如キ暴戾ナル排日ノ結果、滿洲事變ナリ上

海事變ナリガ起ッテ居ルガ、併シ此儘放置シ

テ置ケバ今後ニ於テモ尙ホ地域ハ或ハ又上

海ヨリ漢口ニ變ルカモ知レマセヌガ、即チ

支那ノ各重要ナル地點ニ於テ斯ノ如キ不幸

ナル事變ガ繰返サレルト云フコトハ又想像

シ得ルノデアリマシテ、今日ノ支那人ノ爲

ス所カラ見マスレバ左様ナル不幸ナルコト

ハ有リ得ナイト何人モ斷言シ得ナイノデア

リマス、ソレ故ニ私ト致シマシテハ是非ト

モ此度ノコト、滿洲事變等ニ依リマシテ世

界モ能ク此排日ノコトニ付テ知ッタコトト

思ヒマスルカラ、之ヲ機會トシテ是非トモ

根絶セシメナケレバナラヌモノト思フノデ

アリマス、而シテ今日マデ支那ガ爲シテ居

ル所ノ排日行爲ナルモノハ條約上カラ見テ

如何ナルモノデアアルカト云フコトヲチヨ

ト申シタイノデアリマスルガ、日支ノ間ノ

通商條約ニ反スルコトハ言フヲ俟タヌノデ

アリマス、即チ國民ノ通商ノ自由、或ハ在

留民ノ身體、財産ノ安全保護ト云フヤウナ

點ニ付テハ明カニ蹂躪サレテ居ルノデアリ

マシテ、日支ノ通商條約ノ違反ト云フコト

ハ是ハモウ言フヲ俟タヌコトデアリマス、

而シテ國際的平和條約即チ不戰條約トカ九

箇國條約或ハ聯盟規約ト云フヤウナモノニ

對シテ如何デアアルコト云フコトヲ考ヘマスルト、私ノ考ニ於キマシテハ不戰條約ニモ反シテ居ルコトハ明カダト思ヒマス、即チ排日運動ハ國策遂行ノタメニ爲サレル敵對行爲デアリマシテ、不戰條約第二條ノ國際間ノ紛議解決ノ爲ノ場合ニ於テ、一切平和的手段ヲ用キナケレバナラヌト云フ其規定ニ觸レテ居ルコトハ言フヲ俟タヌト思ヒマス、從テ排日行動ハ不戰條約違反デアルト云フコトハ斷定シ得ルト思ヒマス、次デ毎々日本ノ滿洲ニ於ケル行動ニ付テ引合ヒニ出サレル條約デアリマスガ九箇國條約ニ對シテモ支那ハ其條約ノ精神ニ對シテ違反シテ居ルト思フデアリマス、九箇國條約ハ御承知ノヤウニ支那ノ獨立主權ノ發達ヲ目的トスルモノデアリマシテ、其發達ノ爲ニ九箇國ガ寄テ斯ノ如キ條約ヲ作タノデアリマシテ、其本家本元タル支那ハ此條約ノ手前カラ見マシテモ自ら進ンデ、他ノ國ヨリモ率先シテ自己ノ主權、獨立、國內ノ秩序安寧ノ維持ト云フコトヲ圖ルノガ此九箇國條約ニ調印シタ各國ニ對スル支那自身ノ義務デアルト私ハ思フデアリマス、且又九箇國條約ノ中ニハ機會均等、門戶開放ト云フコトモ支那以外ノ各國ニ課セラレタル義務ト相成テ居ルデアリマスカラ、北支那ノ排日行爲ハ我國ニ對シテ非常ナル迷惑ヲ掛ケタノミナラズ、其國內ニ於テモ其國民ニ對シテ多大ノ迷惑ヲ掛ケ、又其爲ニ抗日會ノ如キモノヲ跋扈セシメテ、國內ノ秩序ヲ紊シテ居ルト云フ狀態デアリマスコトハ、折角九箇國條約ニ依テ各國ガ支那ノ發達ヲ圖ラウトシタニモ拘ラズソレヲ妨ゲソレヲ裏切リモノデアルト云フコトハ私ハ言ヘルト思フデアリマス、尙又排日排貨其他何レノ國ノ財貨、品物デアリマセウトモソレ等ヲ國策ノ爲ニ國家ガ排斥スルト云フガ如キ行動ヲ執ルコトハ所謂門戶開放、機會均等ノ精神ニモ反スルコトト思フデアリマス、ソレ故ニ支那ノ排日行動タルヤ九箇國

條約モ亦許サザルモノデアルト云フコトヲ私ハ斷言スルモノデアリマス、次デ聯盟規約ニ對シテハドウカト申スト、國際聯盟ノ規約ニハ斯ウ云フコトガアルノデゴザイマス、「締約國ハ各國間ニ於ケル公明正大ナル關係ヲ規律シ」云々、「組織アル人民相互ノ交渉ニ於テ正義ヲ保持シ且嚴ニ一切ノ條約上ノ義務ヲ尊重シ以テ國際協力ヲ促進シ且各國間ノ平和安寧ノ完成セムカ爲メ」國際聯盟規約ヲ協定ス」ト云フコトガ其最初ニ書イテアルノデアリマシテ、聯盟規約ニ署名シタル國ハ何レモ其義務ヲ負フテ居ルコトハ明カデアリマス、然ルニ排日運動タルヤ今私ノ讀ミマシタ聯盟規約ノ一番大切ナル點ニ觸レテ居ルト云フコトハ今更私ガ申サヌデモ能ク明カナコトデアリマスルガ、此點ニ於テ聯盟規約ノ精神ノミナラズ其目的ヲ破壞スルモノデアアル、支那ノ排日運動ヲ許シテ置クコトハ要スルニ聯盟ノ精神ヲ破壞スルモノデアアル、又聯盟ノ目的ヲ蹂躪スルモノデアルト云フコトヲ私ハ斷言シテ憚ラナイノデアリマス、斯ノ如ク支那ノ排日運動タルヤ日支ノ間ノ條約ニ反スルノミナラズ、國際平和ヲ維持スル爲ニ存在シテ居リマス重要ナル條約ニ觸レ、日本獨リノ迷惑デハナクテ世界中ノ迷惑、世界中ニ對スル不信義ノコトデアルト云フコトハ明カニ言ヘルノデアリマス、然ルニモ拘ラズ斯ノ如キ不都合ナル行爲ヲ支那自身ガ爲シタニモ拘ラズ、其不都合ナル行爲ニ對シテ日本自身ガ自己ノ權益ヲ擁護センガ爲ニ自衛的ニ執テ處置ニ對シテ、自ラノ其非ヲ忘レテ聯盟ニ對シテ之ヲ訴ヘ出タト云フコトハ誠ニ片腹痛イコトデアリマシテ、白晝公然ト左様ナルコトガ爲シ得ル筈ノモノデハナイノデアリマス、自ラガ初メヨリ聯盟其他ノ平和條約ヲ蹂躪シテ置キナガラ其蹂躪シタコトノ爲ニ起テ結果ニ對シテ其救済ヲ聯盟ニ求メ、而モ口ヲ拭イテシラム、シタモ聯盟ニ之ヲ訴ヘ出タト云フコトハ、誠ニ其

心事陋劣ニシテ我、日本人ノ精神カラ申シタナラバ、如何ナル言葉ヲ以テモ之ヲ言ヒ得ナイ程其心事ノ陋劣サニ呆レザルヲ得ナイデアリマス、滿洲事變ガ起テタナラバ先ヅ以テ彼ハ已レヲ反省シ之ニ依テ自己ノ排日行動ヲ改メ一日モ早く日本トノ間ノ正常ナル國際關係ニ入ルコトヲ考ヘルノガ當然デアアルニモ拘ラズ、彼ハ之ニ出デズシテ自己ノ非ヲ棚ニ上ゲテ、之ヲ國際聯盟ニ訴ヘタト云フコトハ誠ニ呆レ果テタ次第ト言ハザルヲ得ナイノデアリマス、而シテ聯盟ニ彼ガ訴ヘタ後、聯盟ニ對シテ訴ヘタ以上、彼ハ過去ノ非ヲ悟テ今後ハ一切改心シテ聯盟ニ對シテ絕對的ノ敬意ト信頼トヲ拂テ其決議ニハ服從シタカドウカト云フコトヲ考ヘテ見マスルト、聯盟ニ彼ガ訴ヘタ後ニ於テモ尙且排日ヲ止メナカッタノデアリマス、而シテ聯盟ノ九月三十日ノ理事會ノ決議ニ於テハ事件ヲ擴大セナイヤウニ兩者、日本ト支那ニ對シテ出來ルダケ平和的ニ兩國ノ平和的ノ了解ヲ害スルガ如キコトヲセナイヤウニト云フ決議ガ出來テ、此決議ニハ支那モ署名シ、贊成シ、同意シテ居ルノデアリマス、然ルニ且ツ其後ニ於テモ十二月十日ノ聯盟理事會ノ決議ニ於テモ此意味ノコトガ又繰返サレテ居ルノデアリマス、斯ク聯盟ガ非常ニ主要ナル點トシテ其決議ニ加ヘタ其事柄ニ對シテ支那ハ聯盟ノ決議ヲ無視シ、依然トシテ排日ヲ行ヒ、其行動ハ益々惡辣暴戾ヲ極メ遂ニ一月二十八日來ノ上海事變ト相成ッタノデアリマシテ、上海事變ノ突發シタコトハ全ク彼自カラ聯盟ヲ尊重セズ、聯盟ニ對シテ服從ノ意思ナキコトヲ示ス證據デアルト私ハ思フデアリマス、而シテ皆様モ御同感ノ如ク、其支那ノ虛偽ナル宣傳ハ多クノ人ヲ誤ラシメ、其半面ニ於テハ日本ノ立場ヲ誤解セシメ、世界ノ多クノ人ノ耳目ヲ彼ノ虛偽ナル宣傳ニ依テ全ク蔽ハムトシタコトハ益々怪シカラヌ次第デアアルノデアリマス、而シテ聯盟ニ訴ヘ

テ居リナガラ國內ニ於ケル排日運動ハ、上海ノミナラズ各所ニ於テ之ヲ政府ガ或ハ恐ラクハ煽動シテ居リ、援助シテ居ルモノト言ヘルト思ヒマスルガ、少クモ默認シテ居ルト云フコトハ事態ヲ支那全國ニ擴大シツ、アルモノデアリマシテ、聯盟ノ理事會ノ決議ヲ事變後ニ於テ輕視シ、同時ニ聯盟ニ對シテハ唯手段トシテ之ヲ訴ヘタニ過ギズシテ、其精神カラ聯盟ヲ尊敬シ、聯盟ニ頼ルモノデナイコトハ私、斷言シ得ルト思フデアリマス、而シテ上海事變ガ起ルヤ聯盟規約第十五條ニ依テ其處置ヲ聯盟ニ求メタノデアリマス、此十五條ハ所謂國交斷絶ニ至ル處レアル場合ニ於テ爲スノ處置デアリマシテ、上海事變ガ國交斷絶ニ至ル處レアル場合トハ我々ハ認メ得ナイノデアリマス、支那ハ日本トノ斯カル重大問題ガ起ッタニモ拘ラズ、日本トノ間ノ直接ノ交渉ヲ避ケテ、直接ノ交渉ヲスルナラバ日本ト話合ガ付キ得ルニモ拘ラズ左様ナ處置ヲ執ラズシテ自ラ之ヲ聯盟ニ訴ヘル、滿洲事變ノ場合モ然リ、上海事變ノ場合モ然リ、常ニ誠意アル交渉ノ態度ニ出ズシテ、事ヲ誇大ニシ、上海事變ノ如キモノヲ以テモ國交斷絶ニ至ル處レアル場合ト擴大シテ、之ヲ聯盟ニ訴ヘタト云フコトハ是亦不都合ナルコトト私ハ思フデアリマス、斯ノ如ク支那ガ爲ス所ハ終始一貫虛偽ヲ以テ終リ、偽瞞ヲ以テ世界ヲ瞞着シ終ルト云フ、ソレガ一貫シタル精神ナリト私ハ言ヒ得ルト思ヒマス、斯カル惡辣ナル支那ノ手段ノ爲デアリマスルカ、又利害關係薄キガ爲デアリマスルカ、存ジマセヌガ、此聯盟其他ニ於ケル認識ノ不足ナルコトハ洵ニ我々トシテ遺憾千萬ナ場合ガ多クアルノデアリマス、此コトハ皆様ニ於ケレモ常ニ御同感ノコトデアラウト思ヒマスルガ、誠ニ日本ノ心事ヲ疑ヒ、日本ハ滿洲ニ於テ、或ハ上海ニ於テ侵略ノ意圖ヲ持テ居ルノデハナイカ

其侵略ノ意圖ハ持テ居ルノデハナイカト
彼等ガ疑フ其半面ハ斯カル事變ノ起ラザル
ヲ得ザル重要ナル原因ヲ彼等ガ能ク知ラナ
イ爲デアル、即チ排日ノ如何ニ不都合ニシ
テ許シ難イモノデアルト云フコトヲ知ラナ
イガ爲ニ、其暴戾ナル排日ニ對シテ日本ガ
自衛ノ行動ヲ執、タコトニ對シテドウシテ
モ正シキ認識ガ出來ナイノデアリマス、即
チ日本ノ行動ヲ疑フヤウニ相成、テ居ル其
原因ハ排日運動ニ對シテ彼等ガ認識セザル
爲デアルト云ハザルヲ得ナイノデアリマス
、帝國政府ハ機會アル毎ニ滿洲ニ於テモ、
上海ニ於テモ何等侵略ノ意圖ナク、一ニ自
衛ノ爲ニ已ムヲ得ズ爲シテ居ルノデアルト
云フコトハ再三再四言、テ居ルノデアリマ
ス、ソレニモ拘ラス往々聯盟ニ於テ、或ハ
聯盟ニ關係アル國々ノ外相等ノ意見トシテ
モ日本ノ心事ヲ疑ヒ、結局日本ハ滿洲ニ於
テ領土ノ野心ガアルノデアラウト云フコト
ヲ斷定シタル意味ノ聲明、或ハ日本ニ對ス
ル注意ト云フヤウナモノガアツタコトハ新
聞等デ御承知ノ通りデアリマス、殊ニ一番
認識不足ノ顯著ナル例トシテ引キ得ルノ
ハ、十月二十四日ニ開カレマシタ聯盟理事
會ニ於テ日本ノ滿洲ニ於ケル兵ヲ一刻モ早
ク鐵道附屬地内ニ撤退スベシト云フ意味ノ
決議デアリマス、是ニ對シテハ日本ノ代表
ハ無論同意ガ出來マセヌノデ十三對一ヲ以
テ多數ハ此決議ニ贊成ハシタノデアリマス
ガ、日本ノ反對アリシガ爲ニ遂ニ其決議ガ
成立イタサナカッタノデアリマス、即チ日本
以外ノ全部ノ國ハソレヲ以テ當然ナリト
思、タノデアリマシテ、滿洲ノアノ當時ノ事
態ニ於テ直ニ兵ヲ鐵道附屬地内ニ撤退シ得
ルモノト思、タコトハ明カニ彼等ノ認識ガ足
リナイモノデアルト云ヒ得ル有力ナル證據
デアルト思ヒマス、其他佛蘭西外務大臣ノ
「ブリアン」カラ日本政府ニ宛テタ不戰條約
ニ關スル通牒デアルトカ、或ハ二月十六日
ニ十二箇國ノ理事國カラ日本ニ對シ爲サレ

タ所謂「アッピール」ト稱スルヤウナモノハ
常ニ支那人ノ不都合ナル心事ト不都合ナ
ル行動ヲ全ク忘レタモノデアリマシテ、此
聯盟等ノ認識不足ニ對シテハ洵ニ遺憾千萬
デアリマス、同時ニ又亞米利加ニ於テモ認
識ノ不足ナルコトヲ遺憾トスルノデアリマ
シテ、一月七日亞米利加政府ヨリ我國ニ寄
越シマシタ覺書、或ハ二月二十四日ニ亞米
利加ノ國務卿「スチムソン」ガ「ボラー」ニ宛
テタ手紙、ソレ等カラ見マシテモドウモマ
ダハ「キリ」ト認識ガ出來ナイ、唯依然トシテ
日本ノ心事ヲ疑フト云フコトニ終始シテ居
ルヤウデアリマス、半面支那ノ排日行動ニ
對シテノ認識ガ非常ニ缺ケテ居ルト云フコ
トヲ發見スルノデアリマス、殊ニ上海事變
以後ハ亞米利加ガ其神經ヲ非常ニ尖ガラセ
マシテ、國內輿論ガ滿洲事變ノ場合ニ比シ
テ特ニ鋭クアリマス、日本ニ對シテノ經濟
絶交論モ、有力ナル大學教授等ノ識者カラ
發セラレタト云フガ如キコトハ誠ニ驚人
ノ次第デアリマシテ、亞米利加ノ「スチム
ソン」ヲ初メ、其他ノ有力ナル人々ニガ依然
トシテ、其眞髓ヲ知ラザルコトヲ誠ニ遺憾
トスルノデアリマス、我々ハ斯ノ如キ支那
ノ排日運動ニ依リマシテ、從來モ幾多財産
上、生命上失フ機會ガ多ク、又條約上得テ
居ル權利迄モ往々侵害サレ、幾多ノ懸案ヲ
生ジテ居、排日運動ノ其非ナルコト、
其不都合ナルコトハ、我々トシテ豫ニヨリ
味、テ居ル點デアリマス、而シテ是ガ世界
ニハ「キリ」ト分、テ來タコトハ今度ガ初メテ
ダト思ヒマス、此度ノ事變以來聯盟ニ於テモ
亞米利加ニ於テモ非常ニ之ヲ重大視シテ、
其問題ノ中心ヲ研究スルヤウニ相成リ、
更ニ聯盟ヨリハ調査委員ヲ寄越スト云フ
コトニ相成、タコトハ、誠ニ日本トシテハ結
構ナコトダト思ヒマス、此調査委員ノ公平
ナル判斷ニ依リマシテ、正シキ報告ガ聯盟
ニ達スルノ日ニ於テハ、或ハ聯盟ノ空氣ハ

一新シテ、問題ノ中心ヲ知り、同時ニ日本
ノ正シキ主張、正シキ立場ヲ理解スルコト
ガ出來ヤウカト考ヘマスノデ、此聯盟調査
委員ノ報告ノ聯盟ニ到達スルノ日ガ我々ノ
最モ期待スル日デアルト考ヘルノデアリ
マス、幸ニモ、「リンドレー」卿初メ、其委
員ノ人々ニハ、何レモ公正無私ノ立派ナル人
人デアリマスカラ、其報告ニ期待スルコト
ハ多分ニ出來ルコトト思ヒマス、デ私ハ政
府ニ是カラ伺ヒタイ點ヲ申シタイト思ヒマ
スルガ、此度ノ上海事變ノ起リマシタ由來
等ハ、今申シタコトガ明カナルガ如ク、全
ク排日運動ニ原因シテ居ルト思フノデアリ
マス、從テ此度應テ停戰交渉ノ舉句上海ニ
於テ開カルベキ所謂圓卓會議ニ於キマシテハ
此排日問題ニ付テノ何等カノ取極メガ出來
ナケレバオラスコトト思ヒマス、政府ハ斯カル機
會ニ於テ此排日問題ヲ將來絶對的ニ支那ニ
於テ禁止スルコト云フコトノ御提議ヲナサル
御考デアリマスカ如何デスカ、即チ圓卓會
議ニ於テ撤兵ヲナス前ニ、排日問題ニ付テ
ノ我國ノ欲スル程度ノ條件ヲ採ル御積リデ
アルカドウカ、其點ガ一つ、次ニ圓卓會
議ニ於キマシテハ、ドウシテモ上海ニ於ケ
ル治安維持ノ爲ニ從來ヨリモ、何等カ改善
サレタ形ガ作ラレナケレバナラヌモノト
思フノデアリマシテ、ソレヲ中立地帶等ヲ
設ケルト云フコトニシマスカ、或ハ其他國
際警察ヲ設ケルト云フコトニシマスカ存ジ
マセヌガ、兎ニ角治安維持ノ爲ニ一段ノ進
歩ヲナシ、上海事變ナカリシ前ヨリモ、此
事變以後、上海ノ治安ノ宜ク保タレル其爲
ニ、我國在留民ハ勿論、各國人共上海ニ於
テ居住シ、營業スルニ非常ニ好都合ニナ
タト云フ事態ガ造ラルベキ筈ト思ヒマス
ガ、左様ナル取極メヲナス堅キ御決心アリヤ
否ヤ、私ノ虞レル所ハ左様ナル有意義ナ取
極メナシニ、唯支那ノ一流ノ狡イ外交ノ爲
ニ已ムヲ得ズ、日本ガ無意義ニ撤兵スルト
云フヤウナコトガアツテハナラヌト思フ、若

シモ左様ナコトガアリトスルナラバ、是ハ
此内閣ノ非常ナル失態ト云ハザルヲ得ナイ
ト思ヒマシテ、私ハ豫メ左様ナル失態ノナ
カラムコトヲ希望スルガ爲ニ、此際上海事
變ノ解決ニ當リマシテハ、所謂圓卓會議ノ
際ニ於キマシテ、上海ニ於ケル在留民ノ幸
福、又其土地ノ安寧秩序ヲ維持スル上ニ於
テ、何等カノ處置、而モソレガ最モ有效ナ
ル處置ヲ御取極メナサル御積リデアアルカド
ウカ、ソレヲ伺ヒタイノデアリマス、尙ホ
上海圓卓會議ニ於テハ適當ナル機會デア
ルカドウカ分リマセヌガ、此排日運動ト云
フモノハ絶對ニ支那ニ於テ禁絶シナケレバ
ラヌモノト思ヒマス、今直ニ禁絶シ得ナイ
トシテモ、年ト其ニ禁絶セナケレバナラヌ
モノト思ヒマシテ、其目的ノ爲ニ政府ハ是
非將來努力スベキモノト考ヘルノデアリマ
ス、而シテ過去ノ經驗カラ申シマスルト、
支那人ノ申スコトハ一向當テニナラズ、取
極メタコトガ一向取極ニナラヌコトハ、既
ニ此事變以後ニ於テモ數回アルノデアリマ
シテ、上海事變ノ如キ重大ナル事變ヲ起シ
タト云フコトハ、全ク此支那ノ不信ナル爲
デアリマスカラ、唯獨リ支那ヲ對ストシテ、
其排日運動禁絶ノ取極メヲシタ所デ、矢張り
有效ナル處置ハ……結果ハ得ラレナイト思
ヒマス、從テ此排日運動禁絶ノ爲ニハ、列
國ノ協力ヲ求メルト云フ手段ニ出ナケレバ
ナルマイカト思ヒマス、所謂列國共同ノ力
ニ依、テ排日禁絶ヲ圖ルト云フ處置ヲ執ル
御考ガアルカナイカ、之ヲ質問ノ第二點ト
シテ伺ヒタイノデアリマス、排日運動ノ結
果滿洲事變トナリ、或ハ上海事變トナリ、
斯ノ如キ事變ノ結果、聯盟ニ於テ之ヲ重大
ニ取扱ヒ、世界平和ヲ害スル事項ナリトシ
テ取扱、テ居ルノデアリマスカラ、聯盟ト雖
モ此度ノ事態カラ見マシテ、排日運動コソ
世界ノ平和ヲ紊ス根元デアルト云フコトヲ
初メテ覺ルコトガ出來タコトト思フノデア
リマス、從テ過去ニ於テハ困難デアッタカ

ヌ、是方即チ反省ヲ求メナケレバナラヌコトニナル譯デアリマス、私ハ一月ノ通常議會ノ演説ニ於キマシテモ此趣旨ヲ述ベテ置キマシタ、又昨日當院ニ於ケル演説ニ於キマシテモ要スルニ、支那ガ若シ考ヘ直シテ内政ノ統一ヲ圖リ、經濟的發達ヲ計畫シテ、其方針ヲ進ンデ行クコトニナレバ、日本ト和衷融合ト云フ途ハ開カルノデアルト云フコトヲ申シタノハ、即チ此意味カラ出發イタシテ居ルノデアリマス、即チ私ノ考ヘデハ支那政府ガ反省スルヨリ致シ方ナイ、而シテ之ヲ支那政府ヲシテ反省セシムルト云フコトニ付キマシテハ、我々トシテハ最善ノ努力ヲシナケレバナラヌト思フノデアリマス、其色ミナ場合ニ色ミナ方法ニ依ッテ彼等ノ反省ヲ嚴重ニ促スト云フヨリ致方ナイト考ヘテ居ルノデアリマス、又其方針ヲ現在措置イタシテ居リマス次第デアリマス

○男爵矢吹省三君 當席カラ簡單ニ申上ゲマス、只今外務大臣ヨリ御答辯ヲ得マシテ能ク諒承イタシマシタ、上海ノ圓卓會議ヲ開クニ際シテモ私ノ申上ゲマシタ意味ノ御提案ヲナサルト云フコトヲ承ハリマシテ能ク諒承イタシマシタ、ドウカ此上ハ其實ヲ能ク收メルヤウ、シカトドウゾ御配慮ヲ希望イタシマス、交渉ノ困難ナルコトヲ經驗スル者デアリマスカラ、此間ニ於テモ色ミノ御困難ガアラウト思ヒマスガ、併ナガラ上海ノ治安ヲ維持シ、其地方ニ於テノ排日運動ヲ根絶スルコトハ當然シナケレバナラヌコトト思ヒマス、若シ然ラザレバ再ビ左様ナ不幸ナル事件ヲ起ス虞ガアルト思ヒマスカラ、撤兵スルニ當リマシテハ確實ノ協

定ノ上ニ立ッテ、且ツソレガ措置ヲ過クナイヤウニ、安心ノ行ケルヤウナ御取極ヲ御願ヒ致シタイノデアリマス、尙ホ排日運動ニ關スルコトデ列國ノ協力ヲ進メルト云フコトハ私誠ニ御同感デアリマス、普通ノ場合ナラバ此協力ハ相當困難ナコトデアルト考ヘマス、何トナレバ排日ハ日本獨リノ利害問題デアルカラ、我々ノ關知スル所デハナイト云フヤウナ觀測ガ普通行ハレルノデアリマスガ、此度ハ排日ノ爲ニ滿洲事變或ハ上海ノ事態ガ起リマシテ、世界ノ平和ガ此事ニ依ッテ紊サレ、遂ニ世界戰爭ガ又之ニ依ッテ起ルカモ知ラヌト云フ虞ヲ世界各國ノ人ニ持タセタコトト確信スルモノデアリマスカラ、此排日問題タルヤ日本獨リノ利害問題ノミデナク、世界ノ平和ノ問題デアルト云フコトガハ、キリ各自ニ解タラウト思ヒマス、從テ此排日運動ヲ無クスル爲ニ國際協力ヲ進メル、日本ノ自己本位ノ念慮カラノ要求デナクシテ、世界平和ノ爲ニ崇高ナル見地カラノ要求デアルト云フコトヲ以テ、國際協力ヲ進メルコトガ出來ルト思ヒマスカラ、今日ノ如キ場合ハ最モ良キ場合デアアル、排日運動ヲ國際協力ニ依ッテ何等カノ機會ニ於テ根絶スルコトニ御努力ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、若シ之ガ協力ニ應ジナイ國ガアッタナラバ、是今日日本ノ行動ニ付テ非難ヲスルト云フコトハ全ク邪念カラ……、聯盟精神カラデナク邪念カラ來テ居ルノデアリマス、苟モ聯盟精神ヲ解スル時ハ必ズ應ズルデアラウト思フ、ドウカ折角御努力御心配ヲ御拂ヒ下サレムコトヲ切ニ御願ヒ致シマス、之ヲ以テ私ノ質問ヲ打切りマス

○議長(公爵德川家達君) 此際議事日程ヲ追加シテ左ノ議案ノ議事ヲ開イテ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 昭和六年度歳入歳出總豫算追加案第一號、昭和六年度歳入歳出總豫算追加案第二號、昭和七年度歳入歳出總豫算追加案第一號、昭和七年度歳入歳出總豫算追加案第二號、昭和七年度各特別會計歳入歳出豫算追加案第一號、會議、豫算委員長報告、御異議ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス〕

一 昭和六年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)

一 昭和六年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)

一 昭和七年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)

一 昭和七年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)

右衆議院ヨリ受領シタル各案ヲ審査シ總テ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和七年三月二十三日

委員長 伯爵柳澤 保惠

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵柳澤保惠君演壇ニ登ル〕

○伯爵柳澤保惠君 豫算委員會ノ經過並ニ結果ヲ申上ゲマス、豫算委員會ハ先刻正午前ニ開キマシテ、大藏大臣ハ本會議ニ於テ御説明ガゴザイマシタノデ、何等委員會ニハ御説明モゴザイマセヌ、又委員ニ於キマシテモ何等ノ質問モナク、何等ノ意見ノ御發表モナク、直ニ可決イタシマシタ、ドウゾ御賛成ヲ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 豫算案四件一括シテ議題トシ、採決ヲ致シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 書記官ヲシテ報告ヲ致サセマス

〔山本書記官朗讀〕

本日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案

昭和七年勅令第四號(承諾ヲ求ムル件)

昭和七年勅令第七號(承諾ヲ求ムル件)

昭和七年勅令第六號(承諾ヲ求ムル件)

昭和七年勅令第十四號(承諾ヲ求ムル件)

昭和七年勅令第十九號(承諾ヲ求ムル件)

○議長(公爵德川家達君) 此際議事日程ヲ追加シテ、滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案、政府提出案議院送付、第一讀會、昭和七年勅令第四號、昭和七年勅令第七號、昭和七年勅令第六號、昭和七年勅令第十四號、昭和七年勅令第十九號、承諾ヲ求ムルノ件、會議ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナケレバ
只今議長ノ讀ミマシタ議案全部ヲ一括イタ
シマス

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタ
メ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ)

滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發
行ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議
院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和七年三月二十三日

衆議院議長 秋田 清

貴族院議長公爵德川家達殿

滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發
行ニ關スル法律案

滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲政府ハ昭
和七年勅令第六號、同年勅令第十四號及
同年勅令第十九號ニ依リ起債シ得ル金額
ノ外六千七百五十萬圓ヲ限リ公債ヲ發行
シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得
前項ノ規定ニ依ル公債ノ發行價格差減額
ヲ補填スル爲必要アル場合ニ於テハ前項
ノ制限以外ニ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ
爲スコトヲ得

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和七年勅令第四號

右本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決セリ
因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和七年三月二十三日

衆議院議長 秋田 清

貴族院議長公爵德川家達殿

昭和七年勅令第四號

朕茲ニ緊急ノ必要アリト認メ樞密顧問ノ
諮詢ヲ經テ帝國憲法第八條第一項ニ依リ

銀行券ノ金貨兌換ニ關スル件ヲ裁可シ之
ヲ公布セシム

御名御璽

昭和七年一月二十七日

內閣總理大臣 犬養 毅

大藏大臣 高橋 是清

海軍大臣 大角 岑生

鐵道大臣 床次竹二郎

內務大臣 中橋德五郎

司法大臣 鈴木喜三郎

逓信大臣 三土 忠造

陸軍大臣 荒木 貞夫

文部大臣 鳩山 一郎

農林大臣 山本悌二郎

商工大臣 前田 米藏

拓務大臣 秦 豐助

外務大臣 芳澤 謙吉

勅令第四號

日本銀行ハ當分ノ內大藏大臣ノ許可ヲ得
タル場合ヲ除ク外兌換銀行券ノ金貨兌換
ヲ爲スコトヲ得ズ
朝鮮銀行ハ當分ノ內大藏大臣ノ許可ヲ得
タル場合ヲ除ク外朝鮮銀行券ノ金貨引換
ヲ爲スコトヲ得ズ

附則

臺灣銀行ハ當分ノ內大藏大臣ノ許可ヲ得
タル場合ヲ除ク外臺灣銀行券ノ金貨引換
ヲ爲スコトヲ得ズ

附則

本令ハ昭和六年勅令第二百九十一號失效
ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則

昭和七年勅令第七號

右本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決セリ
因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和七年三月二十三日

衆議院議長 秋田 清

貴族院議長公爵德川家達殿

昭和七年勅令第七號

朕茲ニ緊急ノ必要アリト認メ樞密顧問ノ
諮詢ヲ經テ帝國憲法第八條第一項ニ依リ
昭和六年度ニ於ケル國債償還資金ノ繰入
一部停止ニ關スル件ヲ裁可シ之ヲ公布セ
シム

御名御璽

昭和七年一月三十一日

內閣總理大臣 犬養 毅

大藏大臣 高橋 是清

海軍大臣 大角 岑生

鐵道大臣 床次竹二郎

內務大臣 中橋德五郎

司法大臣 鈴木喜三郎

逓信大臣 三土 忠造

陸軍大臣 荒木 貞夫

文部大臣 鳩山 一郎

農林大臣 山本悌二郎

商工大臣 前田 米藏

拓務大臣 秦 豐助

外務大臣 芳澤 謙吉

勅令第七號

昭和六年度ニ於テ國債整理基金特別會計
法第二條ノ規定ニ依リ繰入ルベキ元金償
還資金ハ四千四百萬圓ヲ限リ之ガ繰入ヲ
爲サザルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和七年勅令第六號

右本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決セリ

因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和七年三月二十三日

衆議院議長 秋田 清

貴族院議長公爵德川家達殿

昭和七年勅令第六號

朕茲ニ緊急ノ必要アリト認メ樞密顧問ノ
諮詢ヲ經テ帝國憲法第七十條第一項ニ依
リ滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發
行ニ關スル件ヲ裁可シ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和七年一月三十一日

內閣總理大臣 犬養 毅

大藏大臣 高橋 是清

海軍大臣 大角 岑生

鐵道大臣 床次竹二郎

內務大臣 中橋德五郎

司法大臣 鈴木喜三郎

逓信大臣 三土 忠造

陸軍大臣 荒木 貞夫

文部大臣 鳩山 一郎

農林大臣 山本悌二郎

商工大臣 前田 米藏

拓務大臣 秦 豐助

外務大臣 芳澤 謙吉

勅令第六號

滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲政府ハ二
千九十一萬圓ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借
入金ヲ爲スコトヲ得
前項ノ規定ニ依ル公債ノ發行價格差減額
ヲ補填スル爲必要アル場合ニ於テハ前項
ノ制限以外ニ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ
爲スコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和七年勅令第十四號

右本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決セリ
因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和七年三月二十三日

衆議院議長 秋田 清
貴族院議長 公爵徳川家達殿

昭和七年勅令第十四號

朕茲ニ緊急ノ必要アリト認メ樞密顧問ノ
諮詢ヲ經テ帝國憲法第七十條第一項ニ依
リ滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發
行ニ關スル件ヲ裁可シ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和七年二月十五日

內閣總理大臣 犬養 毅
大藏大臣 高橋 是清
海軍大臣 大角 岑生
鐵道大臣 庄次竹二郎
內務大臣 中橋徳五郎
司法大臣 鈴木喜三郎
逓信大臣 三土 忠造
陸軍大臣 荒木 貞夫
文部大臣 鳩山 一郎
農林大臣 山本錦二郎
商工大臣 前田 米藏
拓務大臣 秦 豊助
外務大臣 芳澤 謙吉

勅令第十四號

滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲政府ハ昭
和七年勅令第六號ニ依リ起債シ得ル金額
ノ外三千四百萬圓ヲ限リ公債ヲ發行シ又
ハ借入金ヲ爲スコトヲ得
前項ノ規定ニ依ル公債ノ發行價格差減額
ヲ補填スル爲必要アル場合ニ於テハ前項
ノ制限以外ニ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ

官報號外

昭和七年三月二十四日 貴族院議事速記第三號 滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案外五件 會議

爲スコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和七年勅令第十九號

右本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決セリ
因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和七年三月二十三日

衆議院議長 秋田 清
貴族院議長 公爵徳川家達殿

昭和七年勅令第十九號

朕茲ニ緊急ノ必要アリト認メ樞密顧問ノ
諮詢ヲ經テ帝國憲法第七十條第一項ニ依
リ滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發
行ニ關スル件ヲ裁可シ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和七年三月三日

內閣總理大臣 犬養 毅
大藏大臣 高橋 是清
海軍大臣 大角 岑生
鐵道大臣 床次竹二郎
內務大臣 中橋徳五郎
司法大臣 鈴木喜三郎
逓信大臣 三土 忠造
陸軍大臣 荒木 貞夫
文部大臣 鳩山 一郎
農林大臣 山本錦二郎
商工大臣 前田 米藏
拓務大臣 秦 豊助
外務大臣 芳澤 謙吉

勅令第十九號

滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲政府ハ昭
和七年勅令第六號及同年勅令第十四號ニ
依リ起債シ得ル金額ノ外千五百萬圓ヲ限

リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ
得

前項ノ規定ニ依ル公債ノ發行價格差減額
ヲ補填スル爲必要アル場合ニ於テハ前項
ノ制限以外ニ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ
爲スコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(國務大臣高橋是清君演壇ニ登ル)

○國務大臣(高橋是清君) 只今議題トナリ

マシタ諸案ニ付キマシテ説明ヲ致シマス、
滿洲事件ニ關スル經費支辨ニ關シマシテ
ハ、曩ニ三回ニ互リ公債發行ニ付キ財政上
ノ緊急處分ニ關スル勅令ガ公布セラレマシ
テ、之ニ依リ發行シタル公債及借入金ヲ財
源トシテ、合計六千九百七十一萬餘圓ノ豫
算外支出ヲ行ツタアリマスガ、昭和六年
度内ニ要スル經費ハ右ノ豫算外支出ニテハ
其所要ヲ充スニ足ラナイ、一般會計ニ於テ
本年度末迄ニ更ニ陸軍省所管六百五十六萬
餘圓、海軍省所管百一十餘圓、計七百五十七
萬餘圓ノ支出ヲ要スルノデアリマス、之ガ
爲ニハ別途昭和六年度追加豫算案ヲ提出イ
タシテ居ル次第デアリマスガ、此財源ニ付
キマシテハ、本年度一般會計ノ狀況ハ多額
ノ歳入不足ヲ來シテ居ル、之ガ爲メ緊急勅
令ニ依リテ、四千四百萬圓ガ國債整理基金
ニ繰入ルベキ元本償還資金ノ額ヲ減少シタ
ヤウナ狀態デアリマシテ、前三回ノ滿洲事
件費豫算外ノ財源ト同様ニ公債財源ニ依ル
ノ外其途ガナイノデアリマス、又滿洲事件
ニ關スル經費ニシテ昭和七年度初メニ於テ
要スルモノハ、目下ノ所一般會計ニ於テ外
務省所管百四十四萬餘圓、陸軍省所管三千
九十七萬餘圓、海軍省所管二千七百十萬餘

圓、計五千九百五十一萬餘圓、關東廳特別
會計ニ於テ三十五萬餘圓、合計五千九百八
十七萬餘圓デアリマス、之ニ關シマシテハ
別途ニ昭和七年度追加豫算案ヲ提出イタシ
デアリマスルガ、其財源ニ付テハ一般會計
ニ於テハ昭和六年度同様之ヲ公債ニ求ムル
コトハ蓋シ已ムヲ得ナイ次第デアリマス、又
關東廳特別會計ニアテモ、昭和七年度滿
洲事件ニ關スル經費ハ、到底普通財源ヲ以
テ支辨スルノ餘地ガナイノデアリマスルカ
ラ、是亦公債財源ニ依ルヲ必要トスルノデ
アリマス、右ノ如ク滿洲事件ニ關スル經費
ノ爲メ昭和六七年兩年度ヲ合計イタシマシ
テ、約六千七百五十萬圓ノ公債發行ヲ必要
ト致ス次第デアリマス、何卒之ニ對シテ協
贊アラムコトヲ希望イタシマス、又昭和七
年勅令第四號ノ承諾ヲ求ムルノ件ニ付キ
マシテ説明ヲ致シマス、政府ハ金ノ輸出禁
止ヲ行ヒ、時局ヲ匡救スルノ急務ナルヲ認
メマシテ、昨年十二月十三日組閣ノ劈頭ニ
於テ、金輸出取締ニ關スル大藏省令ヲ公布
イタシマシタ、併ナガラ日本銀行其他ノ發券
銀行ノ金貨兌換ニ關スル規定ヲ其儘ト致シ
置キマスル時ハ、兌換ノ要求ニ依リ正貨準備
ハ更ニ減少スルヲ免レズ、當時ノ正貨保有
高ニ照シ憂慮ニ堪ヘナイモノガアリマシ
タ、又十二月十一日以來日本銀行ニ對シ金
貨兌換ヲ要求スルモノハ、同行ノ店頭ニ群
集シテ、一國中央銀行ノ威信上面白カラザル
ノミナラズ、人心ノ不安ヲ助長スル虞ガ生
ジタノデアリマス、依テ政府ハ金輸出ノ制
限ノ趣旨ノ徹底ヲ期シ、正貨準備ヲ擁護ス
ルト共ニ、斯ル人心ノ動搖ヲ防遏スル爲、
帝國憲法第八條第一項ニ依リ、銀行券ノ金
貨兌換ヲ一般的ニ禁止スベキ緊急勅令ノ公

布ヲ奏請シ、昭和六年勅令第二百九十一號ノ公布ヲ見ルニ至リマシタ、而シテ此勅令ハ第六十回帝國議會ニ提出シタル所、衆議院解散ノ爲、議會ノ承諾ヲ得ルニ至ラナカタ爲ニ、昭和七年勅令第三號ヲ以テ將來ニ向テ其效力ヲ失フコトヲ公布サレマシタ、然ルニ該勅令ノ内容トスル規定ハ、財界ノ狀況ニ鑑ミ、尙引續キ效力ヲ有セシムル必要ガアリマシタカラ、帝國憲法第八條第一項ニ依リ、同一ノ規定ヲ内容トスル昭和七年勅令第四號ノ公布ヲ奏請イタシタ次第デアリマス、而シテ本勅令ハ將來尙其效力ヲ有セシムル必要ガアリマスカラ、帝國憲法第八條第二項ノ命ズル所ニ從ヒ、帝國議會ノ承諾ヲ求ムル爲、茲ニ之ヲ提出イタシマシタル次第デアリマス、又昭和七年勅令第七號ノ承諾ヲ求メマスル件ニ付テ説明ヲ致シマス、昭和六年度一般會計ニ於ケル豫算實行ニ付テ見マスルニ、約六千四百萬圓ノ歳入不足ヲ生ズベキ情況デアッタノデアリマス、政府ハ此不足補填ノ方法トシテ公債ヲ増發スルヨリモ、成ルベク減債基金ノ繰入停止ニ依ルヲ適當ト認メマシテ、四千四百萬圓タケ一般會計ヨリ國債整理基金特別會計ヘ繰入ルベキ國債元本償還資金ヲ減額スルコトト致シ、又既ニ成立シテ居リマスル公債法ニ依リ、電話事業公債、電信事業公債、道路公債並ニ震災善後公債ヲ募集イタシマスルトキハ、之ニ依リ二千餘萬圓ノ財源ヲ豫定外ニ得ルコトナリ、兩者ヲ合セテ前記ノ歳入不足ヲ補填スルコトヲ得テ、六年度ニ於テハ歳入不足補填公債即チ所謂赤字公債ヲ發行スルノ必要ナキニ至ル見込デアッタノデアリマス、故ニ政府ハ減債基金繰入額中四千四百萬圓ヲ限リ、之ヲ繰入

爲サザルコトヲ得ル爲、法律案ヲ第六十回帝國議會ニ提出シタルデアリマスガ、衆議院ガ解散ヲ命ゼラレ其成立ヲ見ルニ至ラナカタノデアリマス、申上ゲル迄モナク、一會計年度ニ於ケル歳出ハ、其年度ニ於ケル歳入ヲ以テ支辨スベキコトハ、會計法第三條ニ規定セル所デアリマシテ、歳入ガ歳出ニ比シ不足スルコトハ、立法上ニ固ヨリ、財政上ニ於テモ決シテ許スベカラザルコトデアリマス、我國會計制度ノ制定以來、之ニ違反スルガ如キコトノ無カリシハ勿論デアリマス、若シ此歳入缺陷ヲ補填スルノ確信ナキ場合ニ於テハ、政府ハ已ムナク政府ノ義務トスル所ノ支拂ヲモ停止セザルヲ得ザル羽目ニ陥リ、斯クシテハ公共ノ安寧ヲ保シ難キコトト相成ル次第デアリマスルカラ、一日モ早く此歳入缺陷ヲ補填スルノ必要ヲ認メ、前議會ノ解散後間モナク帝國憲法第八條第一項ニ依リ勅令ノ公布ヲ奏請シタルデアリマス、而シテ本勅令ハ將來尙其效力ヲ存續セシムルコトヲ必要ト致シマスノデ之ガ承諾ヲ求ムル爲メ提案シタ次第デアリマス、又昭和七年勅令第六號、同年勅令第十四號及同年勅令第十九號ノ承諾ヲ求ムル件ニ付キマシテ説明ヲ致シマス、滿洲事件ノ經費支辨ニ關スル昭和六年度一般會計追加豫算案並ニ之ガ財源調達ノ爲ニ要スル公債發行ニ關スル法律案ヲ第六十回帝國議會ニ提出イタシマシタル所、衆議院ガ解散ヲ命ゼラレタル爲、該豫算案並ニ法律案ハ成立ニ至ラナカタノデアリマス、申上ゲモナク該追加豫算案ニ掲ゲマシタ經費ハ緊急缺クベカラザルモノデアリ、而シテ一般會計歲計ノ情況ハ多額ノ歳入不足ヲ生ジ、ソレガ補填ノ爲メ減債基金繰入ノ一部停止ヲ

モ必要トスル有様デアリマスルカラ、其財源ハ公債ニ依ルコトヲ必要ト致シタルデアリマス、然ルニ當時ハ衆議院解散後總選舉前デアリマシテ、到底其起債ニ關スル法律案ニ付キ帝國議會ノ協賛ヲ得ルコトハ不可能ノ狀態デアリマシタカラ、二千九十一萬圓ヲ限リ公債ヲ發行スルノ途ヲ開ク爲、本年一月三十一日ニ憲法第七十條ノ規定ニ依リ昭和七年勅令第六號ガ公布セラレタ次第デアリマス、尙其後主トシテ上海方面ノ情勢ノ變化ニ依リ、又滿洲方面ニモ急迫ナル所要ガアリマシテ、經費ノ増額ヲ要スベキ事態ニ立至ッタノデアリマスルガ、申上ゲモナク之ガ經費ハ緊急缺クベカラザルモノデアリマシテ、其財源ヲ公債ニ依ルノ必要アルコト、茲ニ之ガ起債法ニ付キ帝國議會ノ協賛ヲ經ルヲ許サザル事情ノアッタコトハ、前回ノ緊急處分ト同様デアリマシタカラ、前回ノ勅令ニ依リ起債シ得ル金額ノ外、更に三千四百萬圓ヲ限リテ公債ヲ發行スルノ途ヲ開クノ必要ガアッタノデアリマス、仍テ本年二月十五日ニ憲法第七十條ノ規定ニ依リ昭和六年勅令第十四號ガ公布セラレタルデアリマス、更ニ其後ニ至リマシテ主トシテ上海方面ノ情況ノ變化ニ依リ更に經費ノ増額ヲ要スベキ事態ガ生ジタルデアリマス、而シテ之ガ經費ハ緊急缺クベカラザルモノデアリマシテ、其財源モ前回同様公債ニ依ルノ必要ガアッタノデアリマスガ、之ガ起債法ノ協賛ニ付テハ帝國議會ノ開會ヲ待ツコトヲ許サザル急迫ナル情況ニアリマシタルノデ、前回ノ緊急處分ニ依リ起債額ノ外、更に二千五百萬圓ヲ限リ公債ヲ發行スルノ途ヲ開ク爲、本年三月三日憲法第七十條ノ規定ニ依リ昭和七年勅令第十九號ガ公

布セラレタ次第デアリマス、右三回ノ緊急處分ニ依リ發行シタル公債額ハ、發行價格差減額ヲ補填スル爲メ募集シタル額ヲ加ヘマスレバ、額面總額六千三百三十七萬餘圓ナノデアリマス、其外日本銀行ヨリ千四百九十六萬餘圓ヲ借入レタノデアリマス、兩者合計手取額ハ六千九百七十一萬餘圓トナリマス、右ノ公債又ハ借入金ヲ財源トシテ豫算外支出ヲナシタル金額ハ第一回緊急處分ニ依ル公債金ヲ財源トシタルモノ、即チ二月一日支出勅裁ヲ經タルモノノ外務省所管三百三十三萬餘圓、陸軍省所管千六百二十萬餘圓、海軍省所管百八十四萬餘圓、計二千九百九十九萬餘圓、即チ二月十六日支出勅裁ヲ經タルモノ、外務省所管百四十萬圓、陸軍省所管千六百三十四萬餘圓、海軍省所管千六百九十九萬餘圓、計三千三百八十四萬餘圓、第三回緊急處分ニ依リ借入金ヲ財源トシタルモノ、即チ三月四日支出勂裁ヲ經タルモノ、陸軍省所管千三百十四萬餘圓、海軍省所管百八十二萬餘圓、計千四百九十六萬餘圓、右三者合計六千九百七十一萬餘圓デアリマス、右諸案御審議ノ上何卒速ニ御承諾アラムコトヲ願ヒマス

〔關直彦君「議長質問ガアリマス、宜シウゴザイマス」カト呼フ〕

○議長（公爵德川家達君） 御質疑デスカ

○關直彦君 質疑デゴザイマス

○議長（公爵德川家達君） 宜シウゴザイマス

〔關直彦君演壇ニ登ル〕

○關直彦君 只今議題ニナリマシタル勅令案ニ對スル承諾ヲ求ムルノ件デアリマスガ、其中ニ付テ一點私ガ明カニ致シテ置キ

タイト思フコトニ付キマシテ、政府ノ御答辯ヲ得タイト思フノデアリマス、勅令第六號ノ緊急處分ヲサレマシタル即チ滿洲事變ノ經費デアリマス、樞密院ニ御諮詢ニナリマシテ、財政上ノ緊急處分ヲサレル場合ニ於キマシテハ、當然議會ノ開カレテナイ場合、若クハ議會ヲ開ク能ハザル場合ニノミ限ラレタルコトハ、憲法ニ於テ皆サンモ御承知ノコトデアリマス、而シテ此經費ノ豫算ハ去ル一月ノ二十一日帝國議會ガ開カレマシテ居ル際ニ於テ、既ニ議會ニ提出シ得ベキ程度ニ運ンデ居タモノデアリマス、サウシテ見マスレバ、何故ニ直ニ之ヲ開カレテ居ル議會ノ協賛ヲ經ズシテ、議會ノ幕ヲ閉ヂテ置イテ、サウシテ之ヲ樞密院ニ御諮詢ニナッテ、憲法上緊急處置ヲ執ラレタト云フコトハ、私ハ實ニ憲法ノ精神ニ違背シタル處置デナイカト考ヘルノデアリマス、開院式ハ昨年ノ二十六日……十二月二十六日、議會ノ開會ハ一月ノ二十一日デアル其二十一日ニ直グニ出サルベキ……協賛ヲ求メ得ベキ緊急ノ支出デアアルノデアリマス、何故ニ之ヲ其議會ニ提出シナカッタカ、之ヲ提出セズシテ、態議會ノ幕ヲ閉ヂテ非常手段ノ緊急處分ヲ爲サレタカト云フコトニ付テ、政府ノ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス、或ハ其當時ニ於テ御心配ガアッタカモ知レマセヌ、政府ハ……當時ノ政府ハ少數デアリマシテ、反對黨ハ多數デアリマシタカラ、或ハ多少ノ異論ガアルカト御心配ガアッタカモ知レマセヌケレドモ、斯カル議案ニ對シテ、苟モ國民タル者ハ決シテ異議ハ挾ムベキ問題デアリマセヌ、既ニ今日ノ議場ニ於キマシテモ、全豫算ガ滿場一致デ通過シタルノニ依リマシテモ證明サレ

ル譯デアリマス、何モサウ云フ御心配ガナカッタウト思フノニ拘ラス、急イデ其議會ノ幕ヲ閉メテ緊急處置ヲサレタト云フコトハ、實ニ憲法上私ハ嘆ハシイ御處置デアッタ考ヘルノデアリマス、殊ニ大養總理大臣ハ私其多年先輩トシテ仰イデ居リマシタ、憲法上ニ於キマシテハ多大ナル教訓ヲ受ケタ私一人デアリマス、私共ガ教訓サレテ居ル時代ニ於キマシテハ、斯カル事ハ爲サラナイ筈ノ總理デアッタト思フノデアリマサルガ、如何ナル事情ガアリマシタカ、斯様ナ處置ヲ執ラレタト云フコトハ、將來ニ於テモ惡例ヲ貽スコトデアリマスカラ、此際ニ於キマシテ憲法上、其疑義ヲ明カニ致シテ置キマシタイト存ジマシテ、質問スル所以デアリマス

〔政府委員島田俊雄君演壇ニ登ル〕

○政府委員(島田俊雄君) 只今ノ御質問ニ對シテ御答ヲ申上ゲマス、御質問ノ勅令第六號、是ハ御承知ノ如ク只今御話中ニアリマシタ第六十議會ノ劈頭ニ於キマシテ、追加豫算トシテ衆議院ニ提出ノ手續ヲ執ッテ居ルノデアリマス、唯衆議院ガ解散ニ相成リマシタ爲ニ、本案ヲ議了スルコトガ出來ナカッタ、從テ緊急處分ヲ仰グノ已ムナキニ至ッタ次第デアリマス、デ此間ニ於キマシテ、本案ノ如キモノガ兩院ニ提案セラレ議題トナリマシタ場合ニ、性質上御協賛ヲ得ラルルモノデアアルト云フコトニ付キマシテハ、御言葉ノ通りデアラウト考ヘルノデアリマスガ、如何セン、衆議院解散ニ相成リマシタ爲ニ、其手續ヲ執ルノ追ガナカッタ次第デアリマス、此間ニ付テ、之ヲ議了スルノ期間ヲ置カズシテ解散ノ行ハレタト云フコトニ付キマシテハ、是ハ憲法上ノ問題ト

言フヨリモ、政治上ノ責任ニ關スル問題デアラウト考ヘマス、憲法上ノ關係カラ申シマシテハ只今御答ヲ申上ゲマシタ通り、其手續ヲ執ッテ衆議院ニハ提出ヲ致シタ次第デアリマスガ、衆議院解散ニ相成リマシタ爲ニ、已ムヲ得ズ七十條ノ處分ニ依ッタト云フコトハ大藏大臣モ申上ゲラレタ通りデアリマス

○關直彦君 私人述ベマシタノハ、何故左程解散ヲ急ガナケレバナラナカッタカ、幸ニ斯様ナ重要ナル議案ヲ議スベキ議會ガ開カレテ居ルノニ、何等其理由ナクシテ解散ヲ急イデ、此議案ヲ議セズシテ之ヲ憲法上ノ非常處分ニシタノハ、憲法ノ處置デハナイカト私ハ思フ、何故……政治上ト云ハレマスケレドモ、政治上ノ如何ナル理由ガアッタカ知レマセヌ、アッタカモ知レマセヌケレドモ開カレタル議會ガアルノニ、殊更其議會ヲ解散シテ置イテ憲法上非常手段ヲ執ッタト云フノハ、甚ダ不穩當デアアル、違憲ノ嫌ガアルト私ハ斷スルノデアリマス、此上御答辯ガナケレバソレハソレデ宜シウゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 各案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉ニ移リマス
○子爵立花種忠君 只今ノ諸案ハ頗ル重要ナル法律案デアリマスカラ、其數ヲ十八名トシマシテ、其氏名ハ議長ニ於テ御選定御指名アラムコトヲ希望イタシマス、右動議ヲ提出イタシマス
○子爵數篤麿君 贊成
○議長(公爵德川家達君) 立花子爵ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

致デ通過シタルノニ依リマシテモ證明サレ

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス、特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔山本書記官朗讀〕

滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案外五件特別委員
侯爵佐佐木行忠君 侯爵松平 康昌君
伯爵林 博太郎君 子爵青木 信光君
子爵井上匪四郎君 子爵立原 種忠君
大島 健一君 男爵松井慶四郎君
内田 嘉吉君 内田 重成君
男爵千田 嘉平君 男爵郷 誠之助君
男爵小畑太郎君 片岡 直溫君
馬場 鏡一君 林 平四郎君
磯村豐太郎君 本間千代吉君

○議長(公爵德川家達君) 只今指名イタシマシタ特別委員諸君ハ正副委員長ノ互選ヲ行ハレマシタナラバ、速ニ議長ハ御申出ヲ請ヒマス、諸君ニ於テ御異議ガナケレバ本日は是ニテ散會イタシタイト考ヘマス
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 明日ハ午前十時ヨリ開會イタシマス、議事日程ハ本院彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス
午後三時五十二分散會

